

平成29年度

高知県学力定着状況調査結果の概要  
速報版

平成30年2月

高知県教育委員会



## 平成29年度高知県学力定着状況調査の概要

### I. 調査の目的

学力調査等の結果から明らかとなった基礎的・基本的な知識・技能の習得やそれらを活用して課題を解決する力（思考・判断・表現する力等）の育成状況を改善するため、児童生徒の学力の定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすとともに、各学校及び各教育委員会の学力向上検証改善サイクルを確立することを目的とする。

### II. 調査への参加状況

◇ 参加学校数 299校

小学校	192校
中学校	105校
義務教育学校（前期課程・後期課程）	2校

◇ 小学校解答児童数

第4学年

国語 5, 173人      算数 5, 174人

第5学年

国語 5, 362人      算数 5, 365人      理科 5, 369人

◇ 中学校解答生徒数

第1学年

国語 4, 275人      社会 4, 273人      数学 4, 271人

理科 4, 267人      外国語（英語） 4, 270人

第2学年

国語 4, 379人      社会 4, 382人      数学 4, 381人

理科 4, 381人      外国語（英語） 4, 380人

### III. 調査事項

(1) 教科

小学校第4学年…国語・算数

小学校第5学年…国語・算数・理科

中学校第1・2学年…国語・社会・数学・理科・外国語（英語）

※外国語（英語）は、音声聞いて答える問題も出題

(2) 内容

基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等をみる問題

選択式・短答式・記述式の問題形式

### IV. 調査実施日

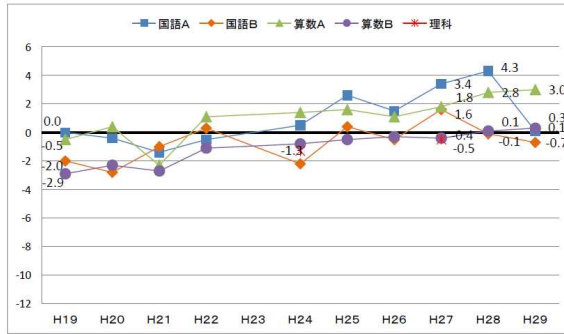
平成30年1月10日（水）



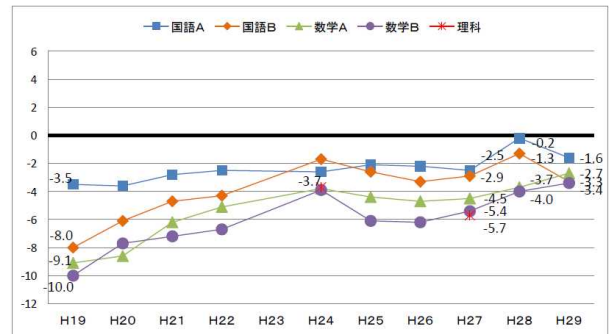
# これまでの学力調査結果に見られる本県の学力の状況

## I 全国学力・学習状況調査結果（平均正答率の経年変化）

### 小学校



### 中学校

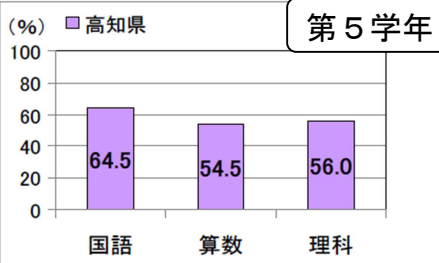
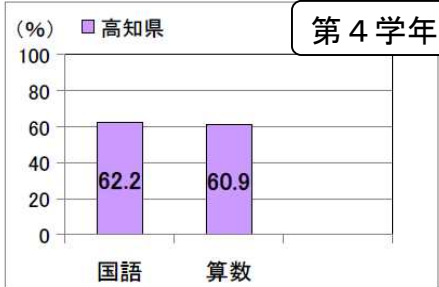


### 現状

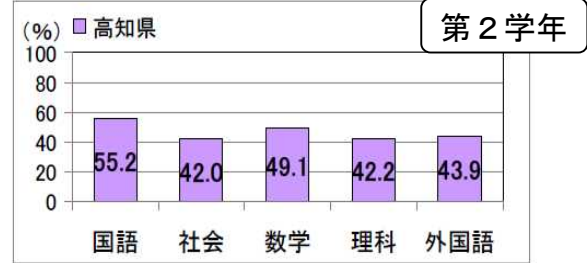
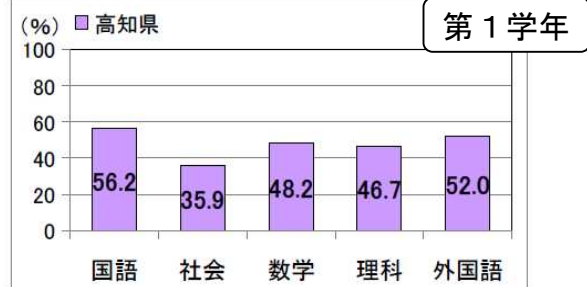
- 算数・数学は小・中学校とも過去最高と、改善が進んでいる。
- 国語については小・中学校とも前年を下回り、特に、これまで強みを見せていた小学校のA問題については大きく落とす結果となっている。また、国語、算数・数学とも主に思考力・判断力・表現力を問うB問題に弱さが見られる点についてもまだ十分な改善が見られていない。

## II 高知県学力定着状況調査結果（平成28年度の平均正答率）

### 小学校調査



### 中学校調査



### 現状

- 算数・数学においては、計算力の向上が見られる。また、説明的文章の要旨を読み取る読解力や根拠を明らかにして表現する力についても一定の伸びが見られる。
- 獲得した知識や技能を、日常生活の場面に当てはめて課題の解決方法を考えることや、知識や技能を活用して問題を解決する力、また、論理的に表現する力については、まだ、課題が残る。



## 2 教科に関する調査結果

### 小学校

#### <第4学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成29年度	59.4	36.6	48.1	50.5	68.1
	平成28年度	62.2	59.6	43.0	28.8	81.2
	平成27年度	60.1	56.7	38.6	44.6	69.1
	平成26年度	63.5	62.0	40.9	48.7	75.3
	平成25年度	53.7	61.4	28.4	32.2	65.0

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成29年度	44.2	46.7	35.0	45.2	46.6
	平成28年度	60.9	64.3	57.3	43.9	62.3
	平成27年度	50.9	46.3	58.3	39.2	50.0
	平成26年度	61.3	69.7	43.7	44.2	63.4
	平成25年度	58.3	65.6	56.3	60.5	51.2

#### <第5学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成29年度	65.6	72.9	49.7	42.1	77.3
	平成28年度	64.5	86.9	33.4	53.5	70.2
	平成27年度	59.0	67.2	24.0	40.6	71.2
	平成26年度	51.8	39.9	31.9	34.0	63.0
	平成25年度	56.2	48.5	34.6	42.7	66.9
	平成24年度	60.9	68.8	56.7	38.6	65.9

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成29年度	51.4	61.1	35.5	41.8	63.5
	平成28年度	54.5	60.3	43.9	43.5	47.4
	平成27年度	49.6	58.0	34.9	40.3	46.0
	平成26年度	48.3	56.6	52.8	34.7	42.4
	平成25年度	45.3	48.7	52.9	56.4	36.8
	平成24年度	73.2	74.8	61.0	87.4	73.3

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成29年度	57.1	62.8	58.7	66.5	50.4
	平成28年度	56.0	48.5	55.7	60.3	58.5
	平成27年度	51.8	30.6	55.2	62.4	50.9
	平成26年度	63.0	65.2	48.2	68.8	66.3
	平成25年度	64.1	78.7	59.0	59.2	51.0

中学校

<第1学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成29年度	59.5	76.1	46.9	45.0	59.8
	平成28年度	56.2	68.1	25.7	43.5	68.1
	平成27年度	59.0	54.0	38.7	58.6	61.1
	平成26年度	58.7	64.6	44.7	45.3	64.1
	平成25年度	66.7	74.6	55.5	46.5	76.1

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			世界の様々な地域	歴史のとらえ方	古代までの日本	中世の日本
社会	平成29年度	32.2	39.5	17.5	22.5	13.3
	平成28年度	35.9	32.5	48.8	37.5	37.9
	平成27年度	37.9	41.1	48.9	23.2	
	平成26年度	42.4	44.0	29.1	49.1	
	平成25年度	44.8	46.6	36.6	43.9	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成29年度	53.8	52.5	62.0	52.0	
	平成28年度	48.2	45.7	59.9	50.8	
	平成27年度	50.7	50.6	58.8	47.6	
	平成26年度	49.3	48.8	64.0	46.1	
	平成25年度	52.7	57.1	54.0	41.6	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成29年度	29.8	28.6	19.5	36.4	
	平成28年度	46.7	39.9	39.9	52.1	
	平成27年度	38.8	26.5	30.3	49.1	
	平成26年度	45.3	47.6	42.2	46.0	
	平成25年度	49.6	38.8	41.2	57.0	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成29年度	45.2	51.6	48.7	33.0
	平成28年度	52.0	65.0	61.9	34.5
	平成27年度	58.4	80.0	58.1	39.1
	平成26年度	64.9	80.8	61.8	52.4
	平成25年度	63.2	78.7	63.1	49.1

<第2学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成29年度	59.1	58.5	48.3	59.3	59.5
	平成28年度	55.2	65.8	29.0	43.4	65.5
	平成27年度	65.8	78.8	38.0	57.6	67.8
	平成26年度	59.0	79.6	39.4	49.8	60.6
	平成25年度	49.6	36.8	22.6	32.5	63.1
	平成24年度	64.3	56.8	62.5	49.7	70.4

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			世界の様々な地域	日本の様々な地域	近世の日本	近代の日本と世界
社会	平成29年度	40.8	46.9	46.2	33.8	32.1
	平成28年度	42.0	42.5	51.4	40.4	30.0
	平成27年度	36.7	41.6	42.0	32.6	30.5
	平成26年度	35.6	45.6	36.0	34.1	24.9
	平成25年度	31.5	33.3	35.1	26.2	35.6
	平成24年度	48.1	66.7	42.4	39.8	

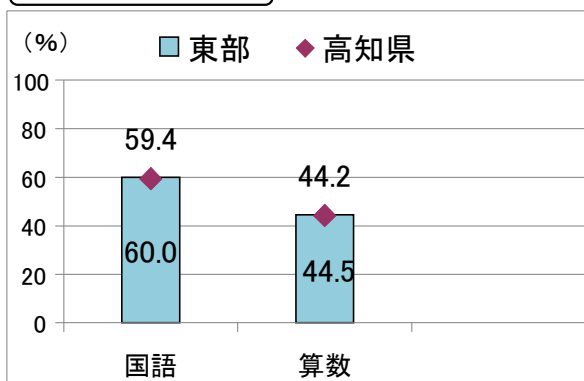
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成29年度	43.6	47.3	31.1	44.6	48.0
	平成28年度	49.1	53.4	52.3	40.5	36.9
	平成27年度	45.3	49.9	34.3	47.4	42.8
	平成26年度	45.1	51.0	39.9	45.4	31.3
	平成25年度	44.4	44.7	61.6	34.7	28.2
	平成24年度	48.1	55.6	59.0	37.1	44.2

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成29年度	41.7	47.4	40.2	50.8	31.2
	平成28年度	42.2	49.3	40.6	41.4	37.1
	平成27年度	36.9	35.4	36.2	40.5	36.1
	平成26年度	38.0	31.0	40.9	41.6	37.7
	平成25年度	29.1	24.7	12.9	41.2	34.2
	平成24年度	48.3	27.7	45.1	64.7	52.2

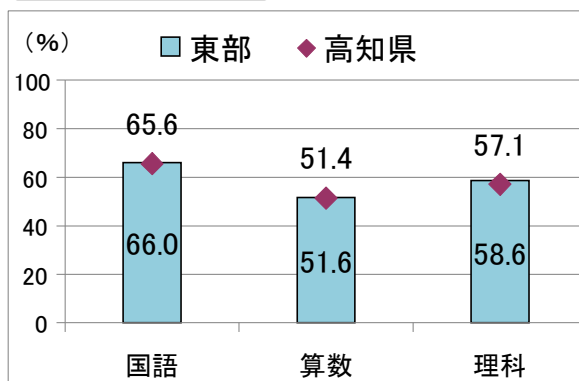
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成29年度	49.6	57.3	53.4	36.7
	平成28年度	43.9	68.0	55.2	15.1
	平成27年度	43.2	65.9	51.1	21.0
	平成26年度	47.8	63.1	58.1	28.8
	平成25年度	52.1	73.5	60.4	28.4
	平成24年度	48.8	54.5	51.5	38.6

## 東部教育事務所

### 小学校第4学年

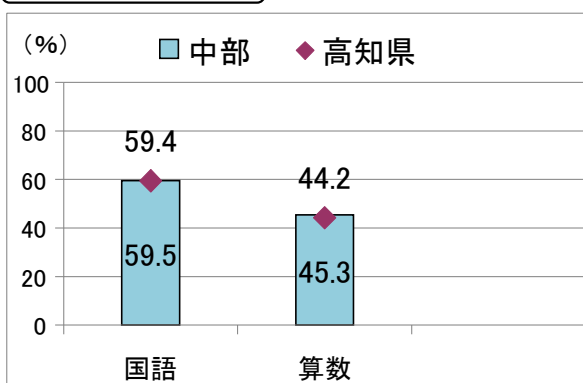


### 小学校第5学年

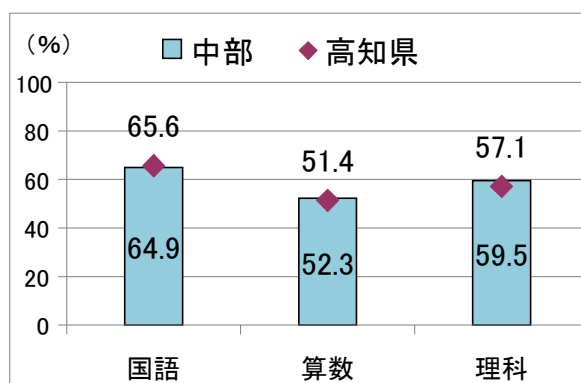


## 中部教育事務所

### 小学校第4学年

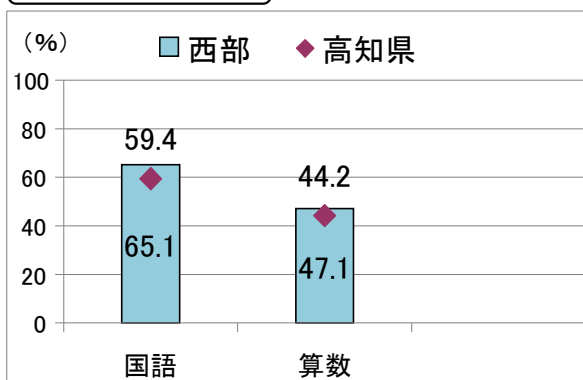


### 小学校第5学年

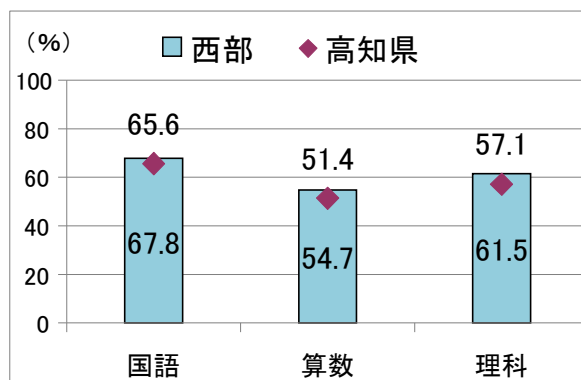


## 西部教育事務所

### 小学校第4学年



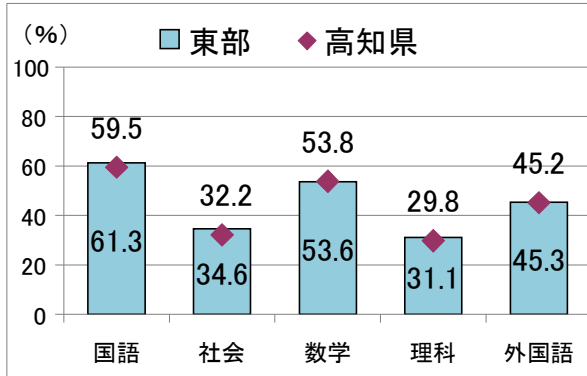
### 小学校第5学年



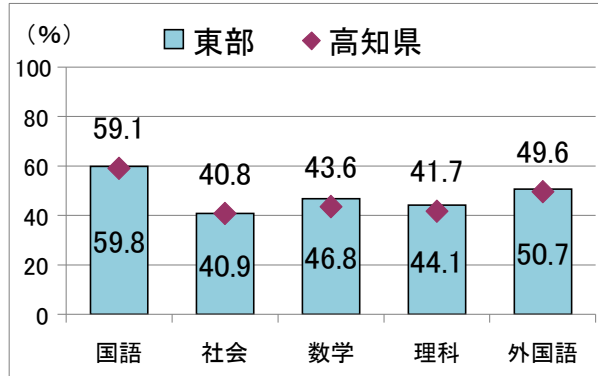


## 東部教育事務所

### 中学校第1学年

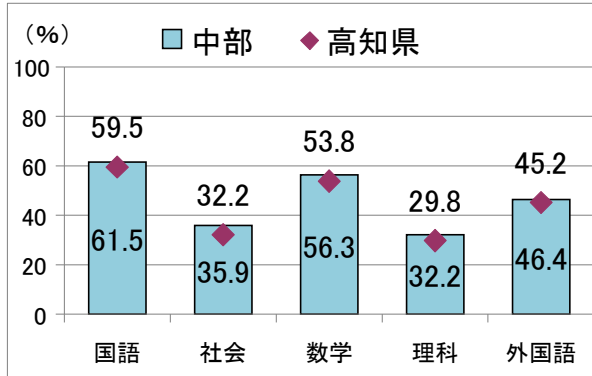


### 中学校第2学年

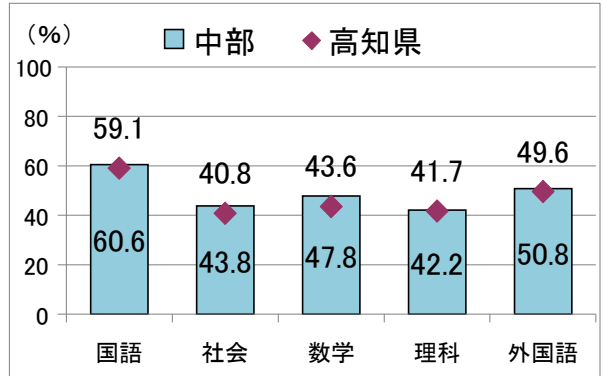


## 中部教育事務所

### 中学校第1学年

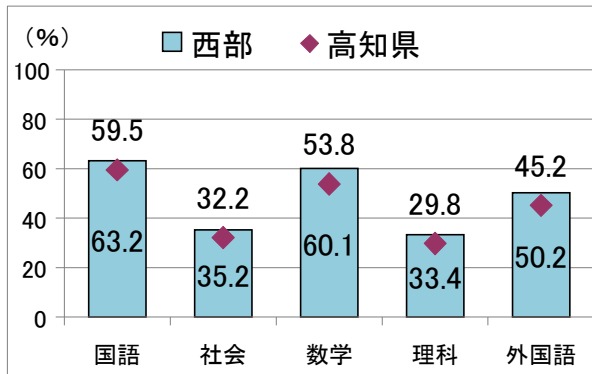


### 中学校第2学年

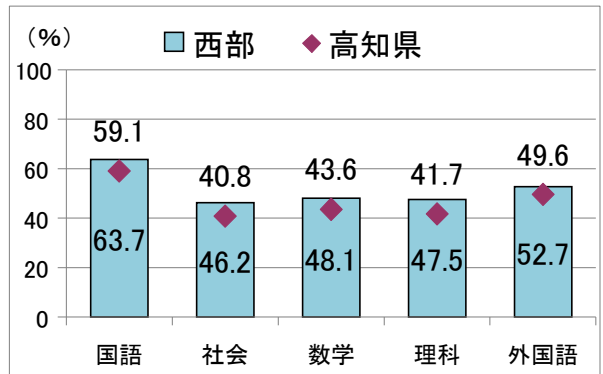


## 西部教育事務所

### 中学校第1学年

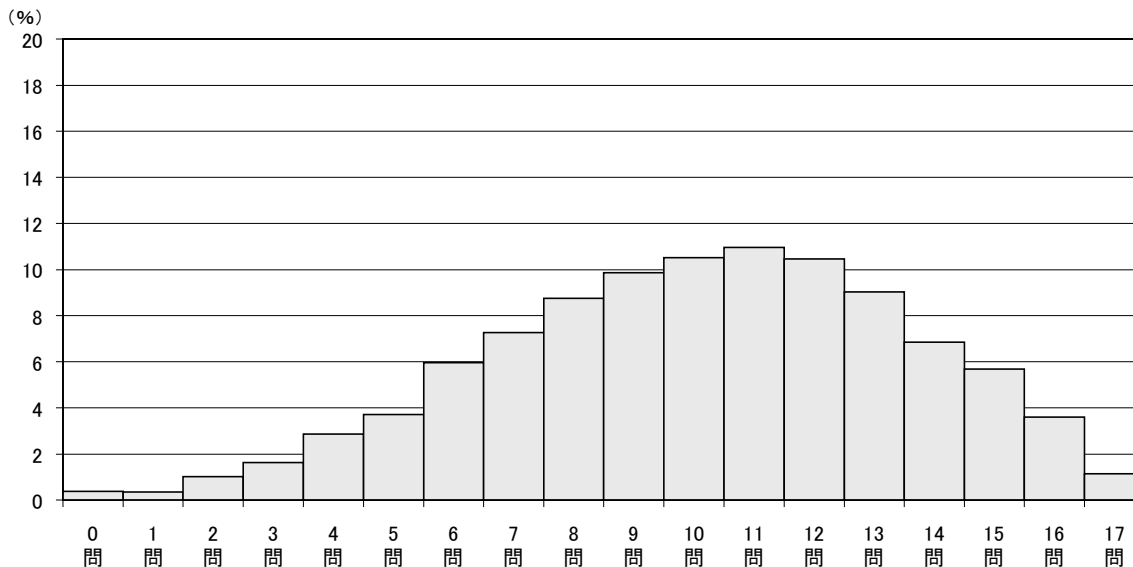


### 中学校第2学年

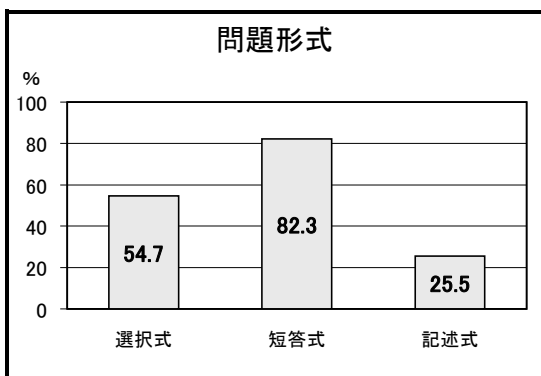
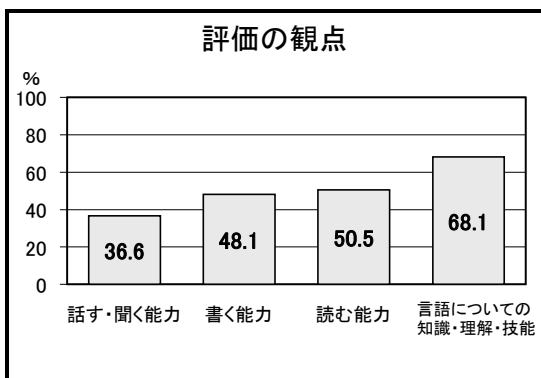
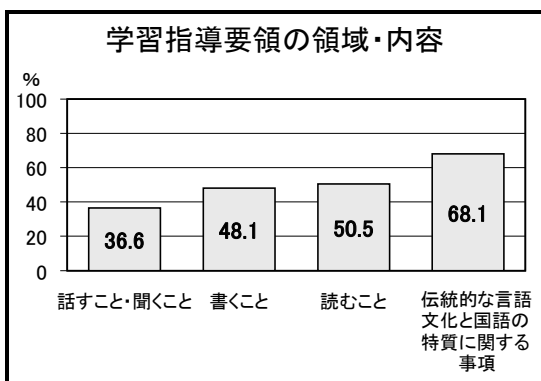


	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,173	10.1 / 17	59.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答数 (割合%)	
0問	0.4
1問	0.3
2問	1.0
3問	1.6
4問	2.9
5問	3.7
6問	6.0
7問	7.3
8問	8.8
9問	9.9
10問	10.5
11問	11.0
12問	10.5
13問	9.0
14問	6.8
15問	5.7
16問	3.6
17問	1.1



### 特徴的な問題

**出題の意図**  
これまで全国学力・学習状況調査や高知県学力定着状況調査において課題が見られた、「目的に応じて必要となる情報を取り出して、複数の条件に沿って記述する」問題を出題した。また、新学習指導要領で新設された、「情報の扱いに関する事項」に関連させたものとした。

三 木下さんは家族と話し合い、「三種類のいちご」を食べられる料金を「もったいない時期」に行こうと計画しました。

木下さんがえらんだ月と、あとの「へじょうけん」に合わせてえらんだ理由を書きましょう。

（へじょうけん）  
○ 「よさこい農園の広告」と「よさこい農園のリーフレット」にある内のような両方を取り上げて書くこと。  
○ 書き出しの言葉に続けて、五十文字以上、七十文字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にふくみません。

**よさこい農園のいちごがり**

今年も、よさこい農園でいちごがりが始まります。ご家族のまだ知らないいちごがりを楽しんでみませんか？ みなさんのご意見を募集しています。ぜひいちごがりは、3日前までお願いしてください。

よさこい農園で食べられるいちごの種類

種類	写真	特長
べにほっぺ		きれいな顔をしています。つぶが大きいので、あまり食べ過ぎても飽きる心配のいりません。
さちのか		まっ赤の色がきれいです。つばは、やや小さめで、あまり食べ過ぎるとお腹が膨らみます。
さびはのか		色がきれいな赤色ですが、肉がはじけやすいので、食べ過ぎるとお腹が膨らみます。

よさこい農園で食べられるいちごのカレンダー

種類	12月	1月	2月	3月	4月	5月
べにほっぺ	12/15	1/15	2/15	3/15	4/15	5/15
さちのか	12/15	1/15	2/15	3/15	4/15	5/15
さびはのか	12/15	1/15	2/15	3/15	4/15	5/15

よさこい農園のこだわり  
わたしたちはいちごを食べたおさまの笑顔を見て、いちご農園を運営しています。おいしい、楽しく、安全に、いちごがりを楽しんでほしいから、いちごを大切にしています。

ご家族がおいしく食べてもらえるように、農園で使う水は地下水ではなく、おろした水を使っています。

ご家族がおいしいいちごを食べられるように、いちごが熟するのを待たせたり、お水をかけたりしています。

ご家族が安全に食べてもらうために、農薬はあまり使いません。肥料は鳥の糞を使ったものを使っています。

よさこい農園 電話番号 088-832-XXXX

**料金** (平日は1人100円引きです。)

期間	対象	小学生以上 (3歳以上)	小学生	ようじ (3歳未満)	3歳未満
12月1日～2月28日		1200円	1000円	800円	無料
3月1日～4月30日		1000円	800円	600円	無料
5月1日～5月31日		900円	700円	500円	無料

**場所** 高知県高知市  
よさこい農園  
※平日のみ

よさこい農園で食べられるいちご  
べにほっぺ さちのか さびはのか  
(時期によって食べられる種類が変わります。)

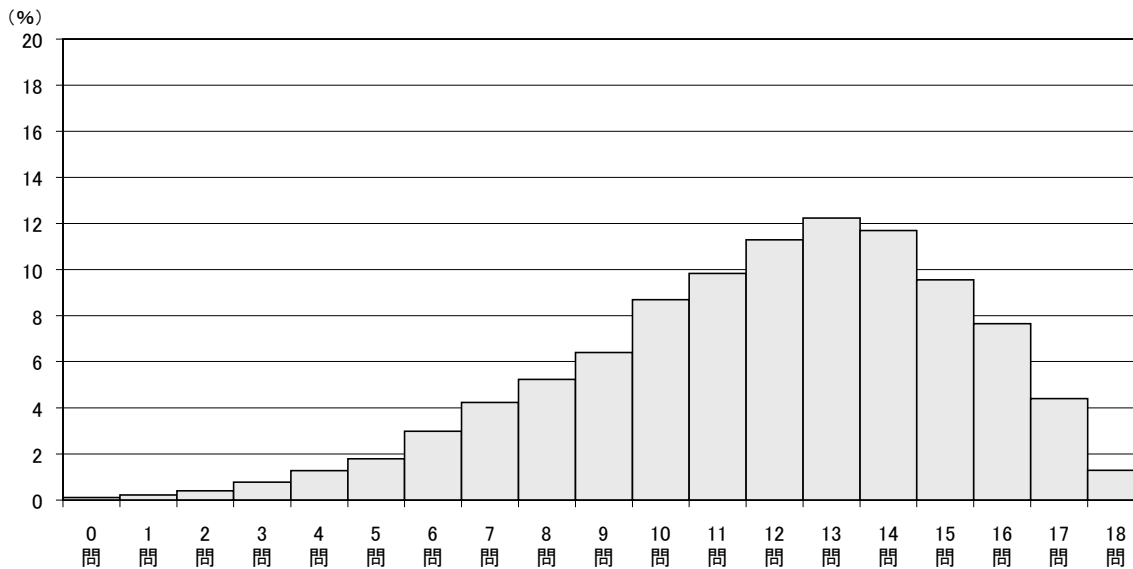
よさこい農園 電話番号 088-832-XXXX

・目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、理由を明確にして自分の考えを書くこと  
[正答率23.1%、無解答率20.5%]

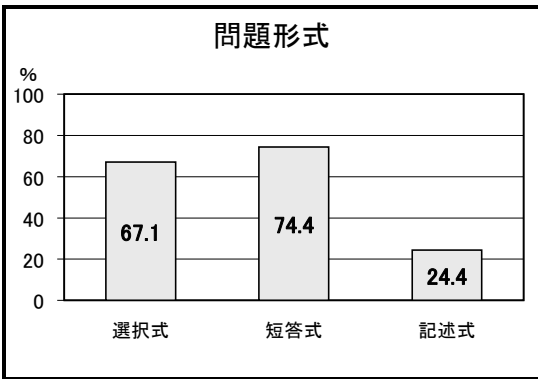
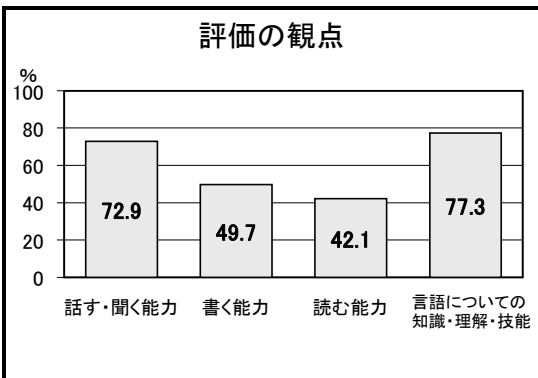
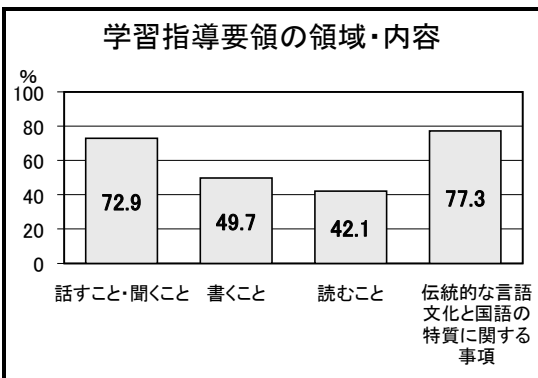
小学校第5学年 国語  
【分類・区別の状況】

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,362	11.8 / 18	65.6

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.2
2問	0.4
3問	0.8
4問	1.3
5問	1.8
6問	3.0
7問	4.2
8問	5.2
9問	6.4
10問	8.7
11問	9.8
12問	11.3
13問	12.2
14問	11.7
15問	9.5
16問	7.6
17問	4.4
18問	1.3



### 特徴的な問題

**出題の意図**  
平成27年度高知県学力定着状況調査において課題が見られた、「目的に応じて文章や資料を読み、必要な情報を取り出し、意見を記述する」問題を出题した。

【資料1】

生息地の環境を再現した緑豊かなのち動物公園  
高知県の自然の森。アフリカ・オーストラリア・アジア・ヨーロッパで採集された約百十種類、十の動物がのどかに暮らしています。  
その中には、パンダ・ペンギンなどの人気動物のほか、珍しい鳥や爬虫類、哺乳類なども含まれています。見所がたくさんあります。モルモットのふれあい、鳥のエンタテインメント、遊覧バスなども楽しめます。

緑に包まれた、学びとあそびの空間 牧野植物園  
高知県の自然の森。牧野植物園の森は、約百十種類、十の動物がのどかに暮らしています。その中には、パンダ・ペンギンなどの人気動物のほか、珍しい鳥や爬虫類、哺乳類なども含まれています。見所がたくさんあります。モルモットのふれあい、鳥のエンタテインメント、遊覧バスなども楽しめます。

観光と探検と学術的価値の三拍子そろった神秘的窟でん 龍河洞  
日本の代表的観光地として知られ、げんそくで神秘的な世界を感得することができます。洞窟内には、約百十種類、十の動物がのどかに暮らしています。その中には、パンダ・ペンギンなどの人気動物のほか、珍しい鳥や爬虫類、哺乳類なども含まれています。見所がたくさんあります。モルモットのふれあい、鳥のエンタテインメント、遊覧バスなども楽しめます。

三浦さんは「高知のおすすめスポット」といって見出しを考えて、記事Dの部分に、「高知県の観光地利用客ベスト10」の中から、交流している小学校の友だちが楽しめる場所をおすすめする記事を書こうと決めています。あなたなら、どの観光地の記事を書きますか。「動物が好きな」、「植物が好きな」、「動物が好きな人」のどちらかを対象に選び、「どちらを選んでもかまいません」とあとの(条件)に合わせて、記事を書きましょう。

(条件)

- 「動物が好きな人」、「植物が好きな人」のどちらの人にするか決めて書くこと。
- 「資料1」の中から、目的に応じて、その資料からおすすめしたい内容を取り上げて書くこと。
- 百字以上、百二十字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にふくみません。

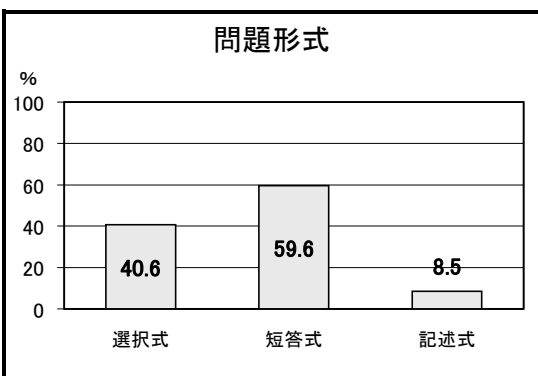
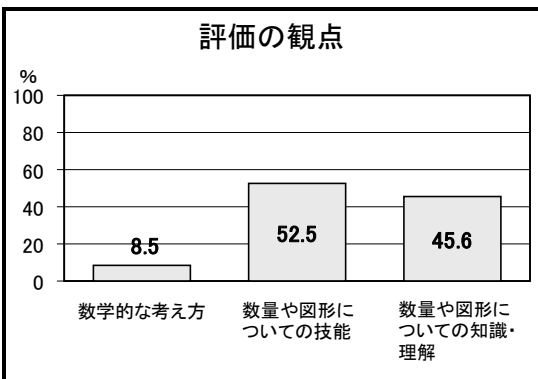
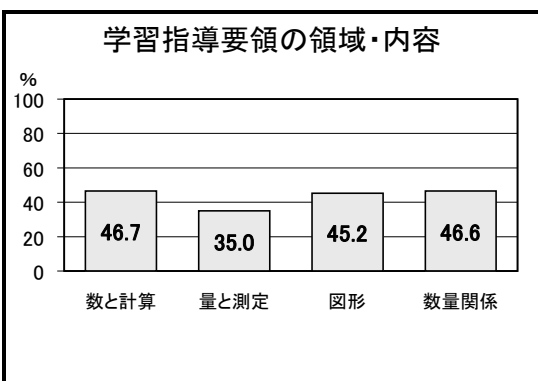
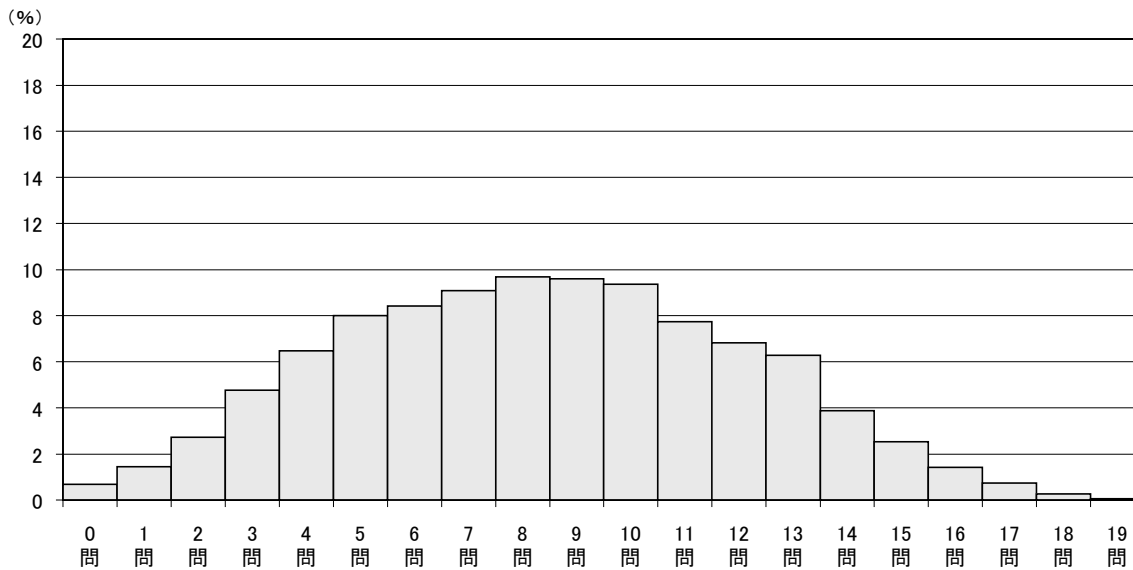
・書こうとするものの中心を明確にし、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること  
[正答率27.6%、無解答率22.8%]

小学校第4学年 算数  
【分類・区別の状況】

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,174	8.4 / 19	44.2

正答数 (割合(%))	
0問	0.7
1問	1.4
2問	2.7
3問	4.8
4問	6.5
5問	8.0
6問	8.4
7問	9.1
8問	9.7
9問	9.6
10問	9.4
11問	7.7
12問	6.8
13問	6.3
14問	3.9
15問	2.5
16問	1.4
17問	0.7
18問	0.3
19問	0.1

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



### 特徴的な問題

**出題の意図**  
新学習指導要領において述べられている「二つのグラフを比べ判断したことをもとにグラフを作り替える」という学習活動に関連させた問題を出題した。

**13 (2)**

月別のアルミかんの重さ(平成28年)

月別のアルミかんの重さ(平成29年)

月別のアルミかんの重さ

上の折れ線グラフは、19ページの平成28年と平成29年の2つの折れ線グラフを作りかえたグラフです。どのように作りかえたのかを書きましょう。

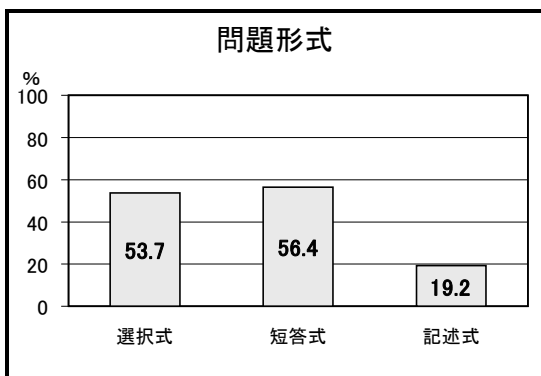
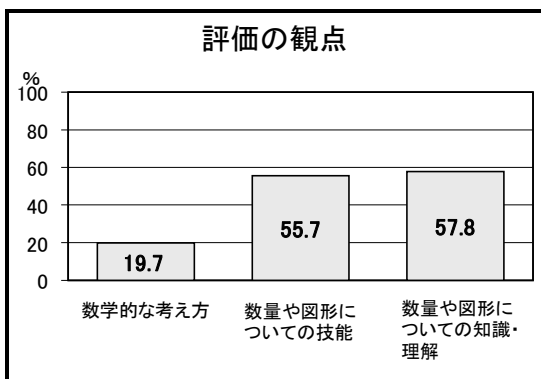
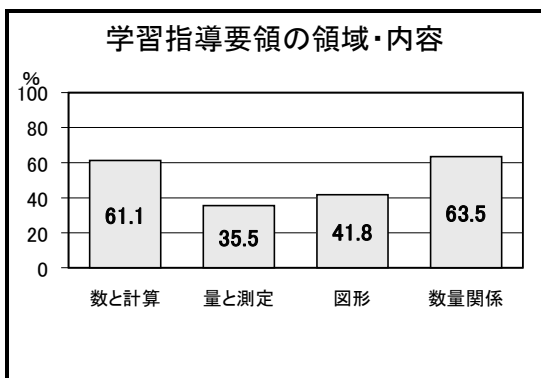
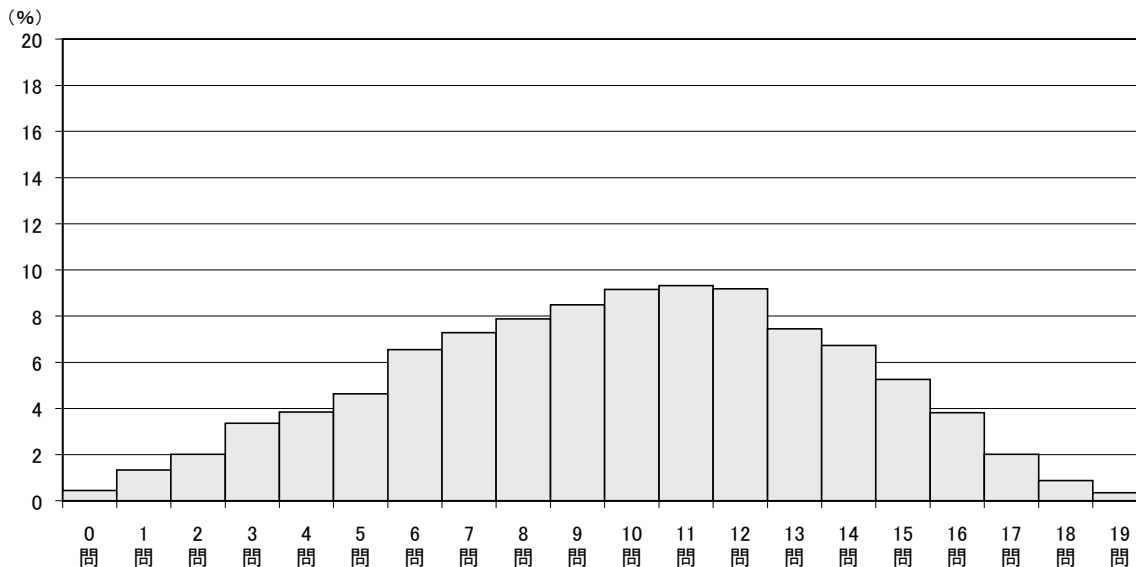
・変更したグラフの縦軸の目盛りなどを比較し、グラフを作り変えた点を記述すること  
[正答率4.2%、無解答率20.3%]

小学校第5学年 算数  
【分類・区別の状況】

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,365	9.8 / 19	51.4

正答数 (割合(%))	
0問	0.4
1問	1.3
2問	2.0
3問	3.4
4問	3.8
5問	4.6
6問	6.5
7問	7.3
8問	7.9
9問	8.5
10問	9.2
11問	9.3
12問	9.2
13問	7.5
14問	6.7
15問	5.3
16問	3.8
17問	2.0
18問	0.9
19問	0.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



### 特徴的な問題

**出題の意図**  
 これまで全国学力・学習状況調査や高知県学力定着状況調査において課題が見られた、「高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解する」ことから、その改善状況を見るために出題した。

**6** (i) 次に、下の図5のように四角形ABCDを台形ABCDとし、その中にある黒い2つの三角形を合わせた面積と白い三角形の面積を比べます。

下の図のように点Eを辺ADにそって動かしたとき、それぞれの三角形は図6から図8のように変わっていきます。

ゆきこさんの考え方をもとに図5の台形ABCDの中にある黒い2つの三角形を合わせた面積と白い三角形の面積を比べると、どちらの三角形の面積が大きくなりますか。下の1から3までの中から1つ選びましょう。また、その番号を選んだわけを言葉と数を使って書きましょう。

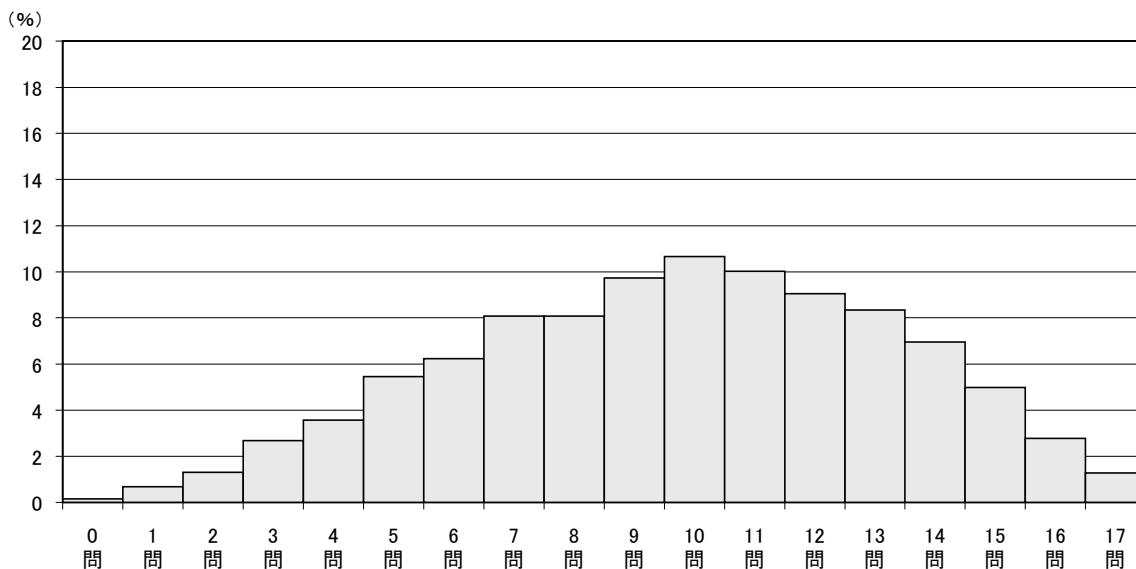
- 黒い2つの三角形を合わせた面積のほうが広い。
- 白い三角形の面積のほうが広い。
- 黒い2つの三角形を合わせた面積と白い三角形の面積は等しい。

・台形の中にできる黒い三角形と白い三角形の面積の大きさを比較し、大小を判断した理由を記述できること  
 [正答率8.0%、無解答率4.0%]

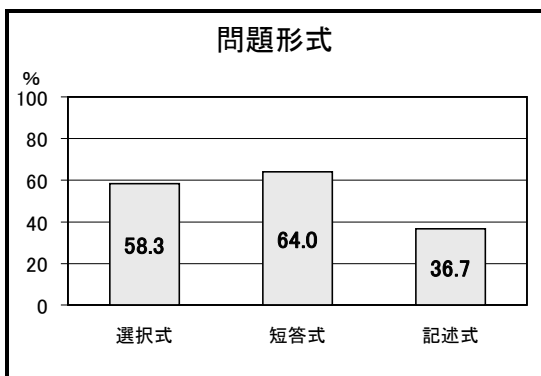
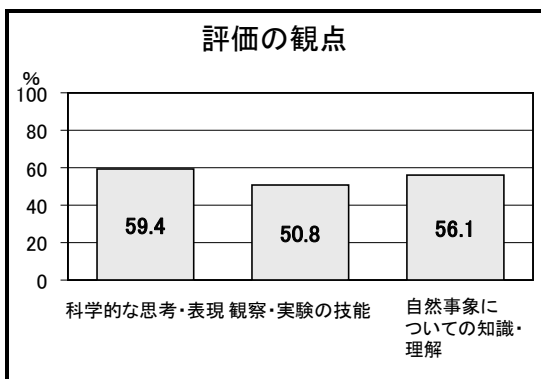
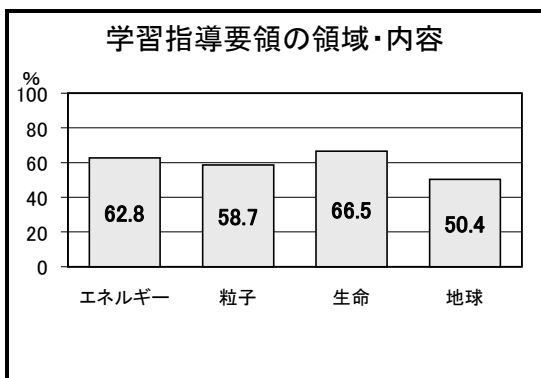
【分類・区別の状況】

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,369	9.7 / 17	57.1

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.7
2問	1.3
3問	2.7
4問	3.6
5問	5.5
6問	6.2
7問	8.1
8問	8.1
9問	9.7
10問	10.7
11問	10.0
12問	9.1
13問	8.3
14問	6.9
15問	5.0
16問	2.8
17問	1.3

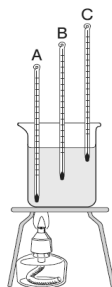


### 特徴的な問題

#### 出題の意図

平成27年度全国学力・学習状況調査において、「予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構想したり、実験結果を基に自分の考えを改善したりすることに課題がある」とことから、その改善状況を見るために出題した。

- 4 (1) しんじさんたちは、予想を確かめるために3本の温度計を、下の図のようにビーカーに入れて実験しようと考えました。



3本の温度計の温度が高くなる順番で確かめることができそうだよ。



わたしの予想どおりならば、この方法だとA→C→Bの順に高くなるはずだよ。



この方法で実験をした場合、温度計が示す温度が高くなる順番が、まゆさんの予想と同じ結果になると考えられる人がいます。それはだれの予想ですか。下の1から3までの中から1つ選びましょう。

- 1 あいりさんの予想
- 2 しんじさんの予想
- 3 かずやさんの予想

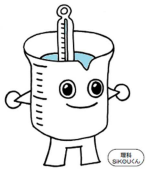
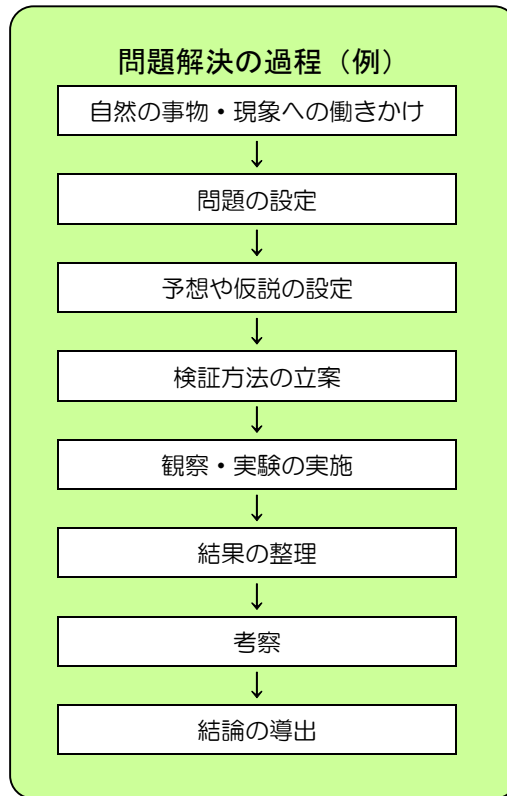


この方法では、どの予想が正しいか調べることができないよ。実験の方法を見直さなくてはいいね。

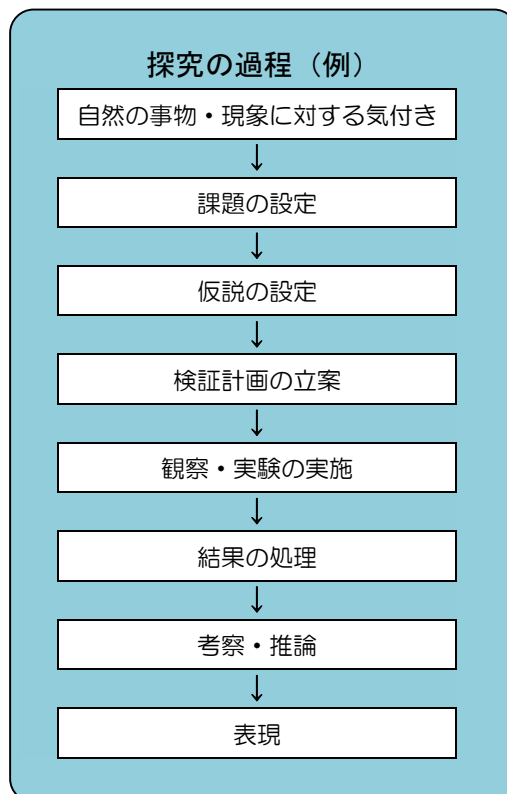
・予想が一致した場合に得られる結果を見通して、水の温まり方についての予想を確かめる実験を構想すること  
[正答率54.6%、無解答率0.9%]

# 【資質・能力を育成する学びの過程（理科）】

< 小学校 >



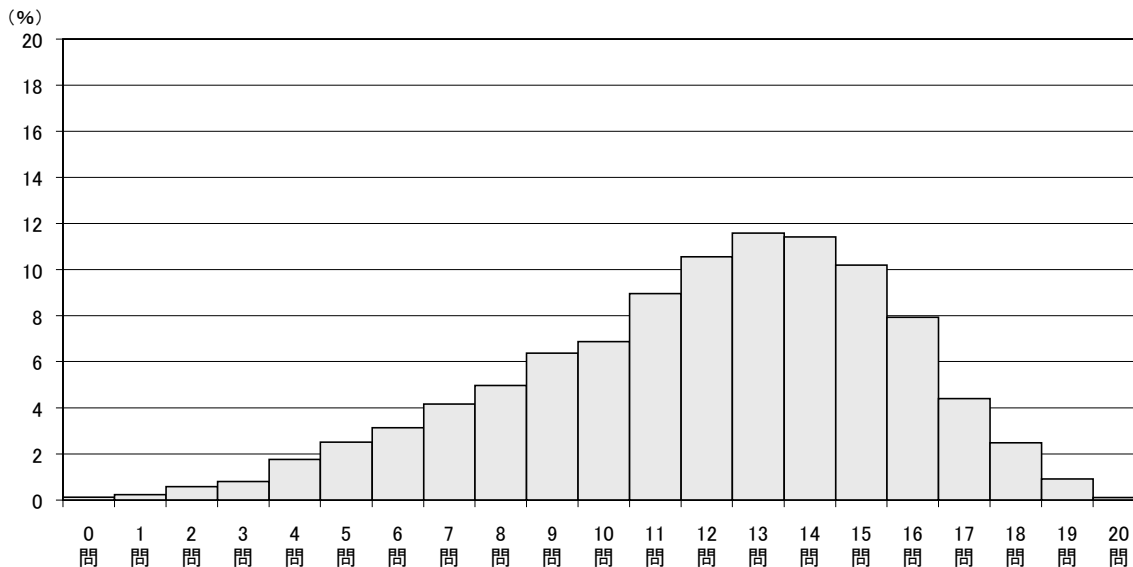
< 中学校 >



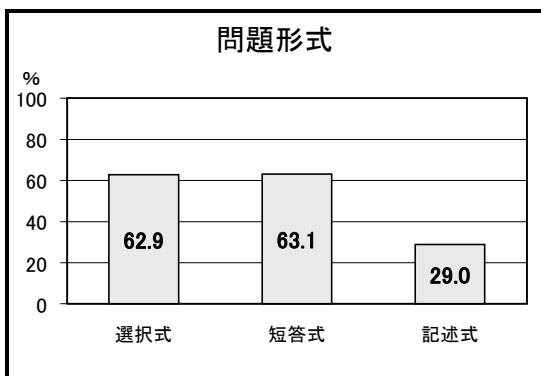
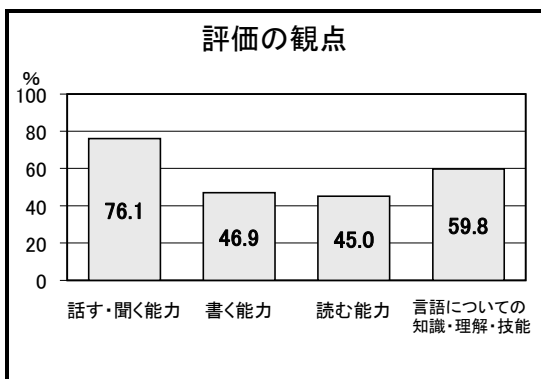
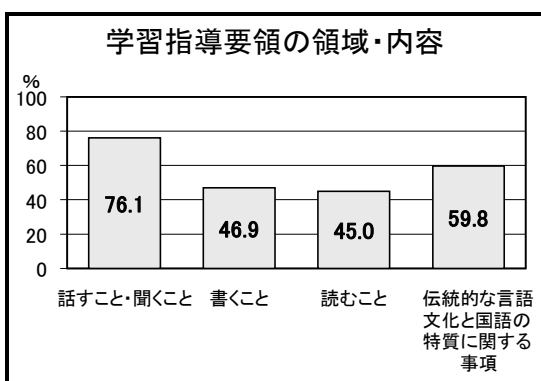
中学校第1学年 国語  
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,275	11.9 / 20	59.5

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.2
2問	0.6
3問	0.8
4問	1.8
5問	2.5
6問	3.1
7問	4.2
8問	5.0
9問	6.4
10問	6.9
11問	9.0
12問	10.5
13問	11.6
14問	11.4
15問	10.2
16問	7.9
17問	4.4
18問	2.5
19問	0.9
20問	0.1



### 特徴的な問題

**出題の意図**  
平成26年度全国学力・学習状況調査において、「作者の意図、表現の工夫やその効果などについて考えたことを、根拠を明確にして書くことに課題がある」ことから、その改善状況を見るために出題した。

② 城南中学校の生徒会では、地域の小学生に中学校について知ってもらうための「学校紹介」のリーフレットを作成することにしました。次は、生徒会が事前に空生徒を対象に作った「アンケートの結果」と、それをもとに生徒会のメンバーで話し合った「構想メモ」、作成中の「リーフレットの二部」です。これらを選んで、あとの問いに答えてください。

リーフレットの二部

**私たちが目指す学校**  
一人一人がいろいろな場面で活躍できる学校。  
人とのつながりを大切にして心を育てる学校。

**文武両道**  
学校には国語科にも熱心な学校です。授業に集中する姿勢、真面目に学習に取り組む姿勢には目標があります。部活動にもはたかどりの生徒が活躍し、活気にあふれています。

**団結力**  
生徒会も、全校生徒が一体となって取り組む行事の一つで、意の熱気が伝わります。

**交流**  
交流相手になる学校です。清掃活動や運動会などの活動などを行っています。地域のみなさんにも大歓迎は、活動を通して様々な出会いが生まれることを目指しています。

三 生徒会では、「リーフレットの二部」の部分を詳しく「キャッチフレーズA」「B」を作りました。あなたなら、どちらを選びますか。A、Bから一つ選び、どちらの「キャッチフレーズ」を選んでほしいかを、理由を添えてください。

条件1から条件3にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、一筆で消したり行間を開き加えたりしても構いません。

(注) キャッチフレーズ：人の注意をひくように工夫した言葉や短文。

条件1 「アンケートの結果」、「構想メモ」、「リーフレットの二部」のいずれかの内容と関連させて書くこと。

条件2 「キャッチフレーズ」の中の見出しについて取り上げ、その効果を具体的に書くこと。

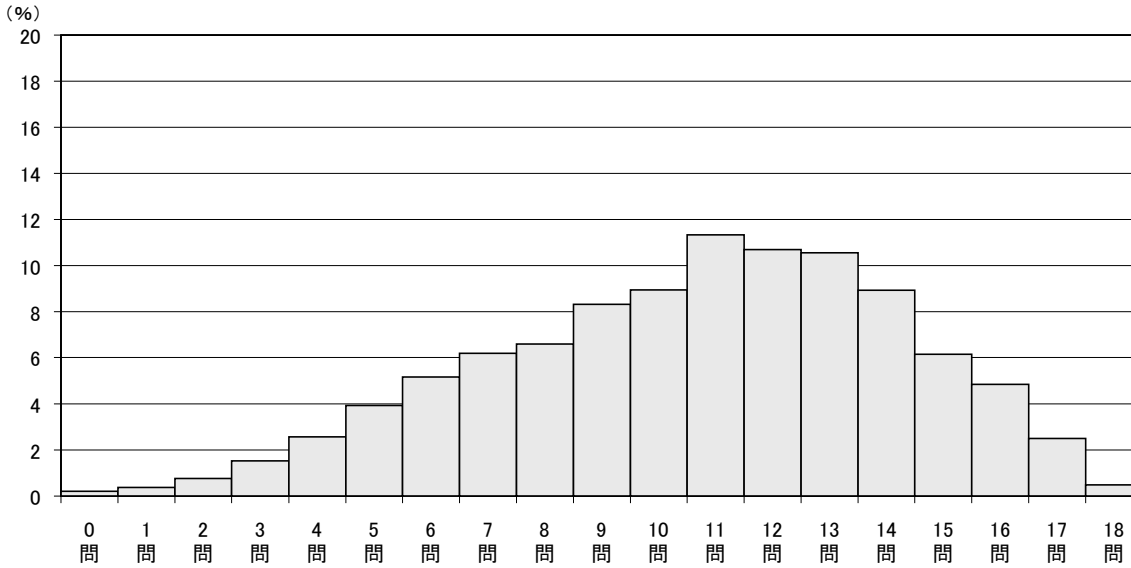
条件3 八十文字以上、百字以内で書くこと。

・文の構成や特徴などについて、自分の考えを根拠を明確にして書くこと  
[正答率19.1%、無解答率5.5%]

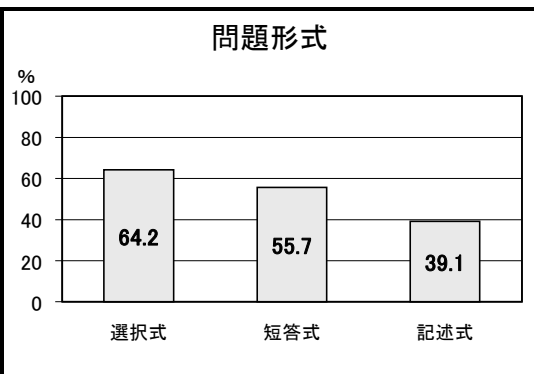
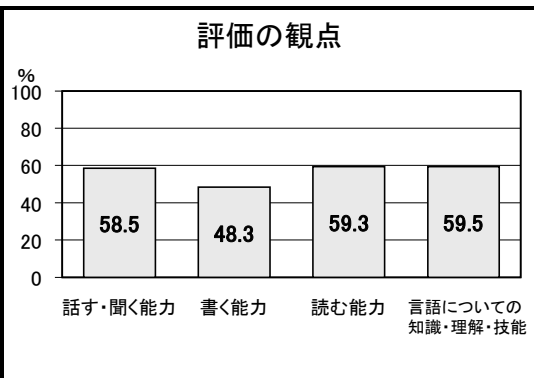
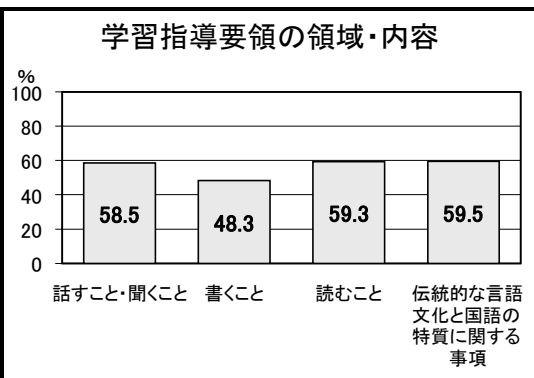


	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,379	10.6 / 18	59.1

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.4
2問	0.8
3問	1.5
4問	2.6
5問	3.9
6問	5.2
7問	6.2
8問	6.6
9問	8.3
10問	9.0
11問	11.3
12問	10.7
13問	10.6
14問	8.9
15問	6.1
16問	4.8
17問	2.5
18問	0.5



### 特徴的な問題

#### 出題の意図

平成27年度全国学力・学習状況調査において、「資料の提示の仕方を工夫し、その方法を説明することに引き続き課題がある」ことから、その改善状況を見るために出題した。

【資料】  
地域と連携した取り組みをしている高等学校の人数と、参加した生徒のべん人数の変化

【資料】  
この資料は、地域と連携した取り組みをしている高等学校の人数と、その取り組みに参加した高校生のべん人数の変化を示したものです。そのほか、参加した生徒のべん人数の増加率も示されています。実際に地域のボランティア活動やイベントの運営に参加している生徒は、「地域の活動」に注目して、自分自身も社会のために役立つことができるのではないかと考えている生徒も増えています。地域の人たちとのつながりも、いろいろな活動をしたいと考えている「出たべん人たちの笑顔」も、自分自身も参加したいと考えている生徒も増えています。参加した生徒のべん人数の増加率も示されています。

【資料】  
小松さんが考えた各学年についての紹介内容は、以下のように思っています。

【資料】  
小松さんが考えた各学年についての紹介内容は、以下のように思っています。

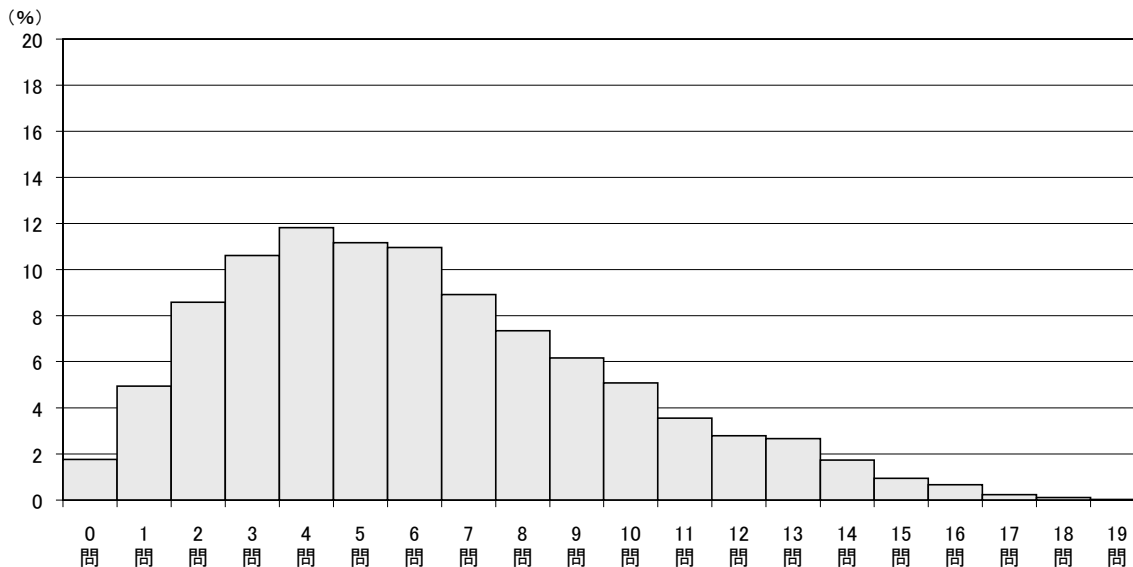
【資料】  
小松さんが考えた各学年についての紹介内容は、以下のように思っています。

・資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書くこと  
[正答率38.4%、無解答率23.1%]

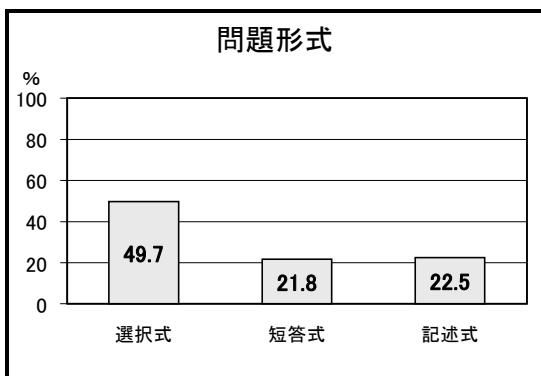
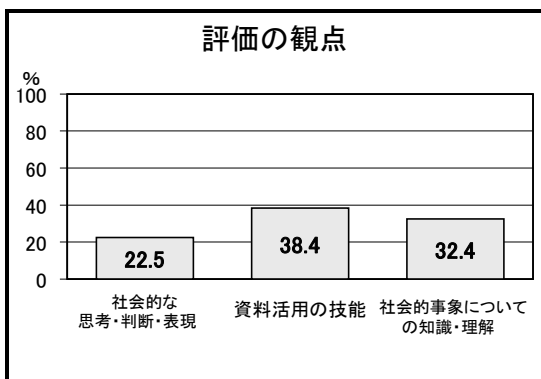
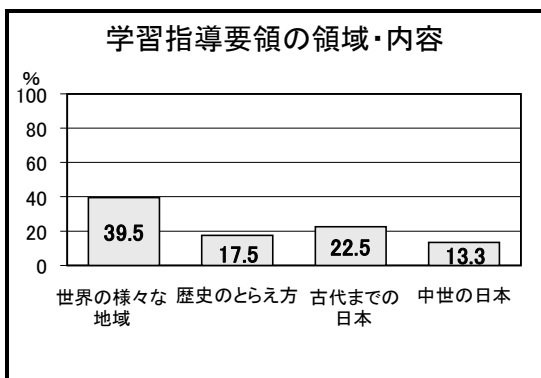
中学校第1学年 社会  
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,273	6.1 / 19	32.2

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	1.8
1問	4.9
2問	8.6
3問	10.6
4問	11.8
5問	11.2
6問	11.0
7問	8.9
8問	7.3
9問	6.2
10問	5.1
11問	3.6
12問	2.8
13問	2.7
14問	1.7
15問	0.9
16問	0.7
17問	0.2
18問	0.1
19問	0.0



### 特徴的な問題

**出題の意図**  
過去の高知県学力定着状況調査において、「資料から情報を関連付けて書くことに課題がある」ことから、その改善状況を見るために出題した。

4

(4) アメリカ合衆国の農業は、経営の方法に特徴があると考え、資料を集めました。下の【資料5】は、農場を経営の仕方により「家族の経営」と「企業の経営」の2つに分類し、その割合を比較したものです。【資料5】から読み取れる、企業が経営している農場の特色を、農場数と農地面積および販売額を関連させて書きなさい。

**【資料5】アメリカ国内の農業の比較(%)**

項目	家族の経営 (%)	企業の経営 (%)
農場数	89.7	10.3
農地面積	33.7	66.3
販売額	47.5	52.5

□ 家族の経営  
■ 企業の経営  
※ 法人、共同経営、協同組合などを含む。

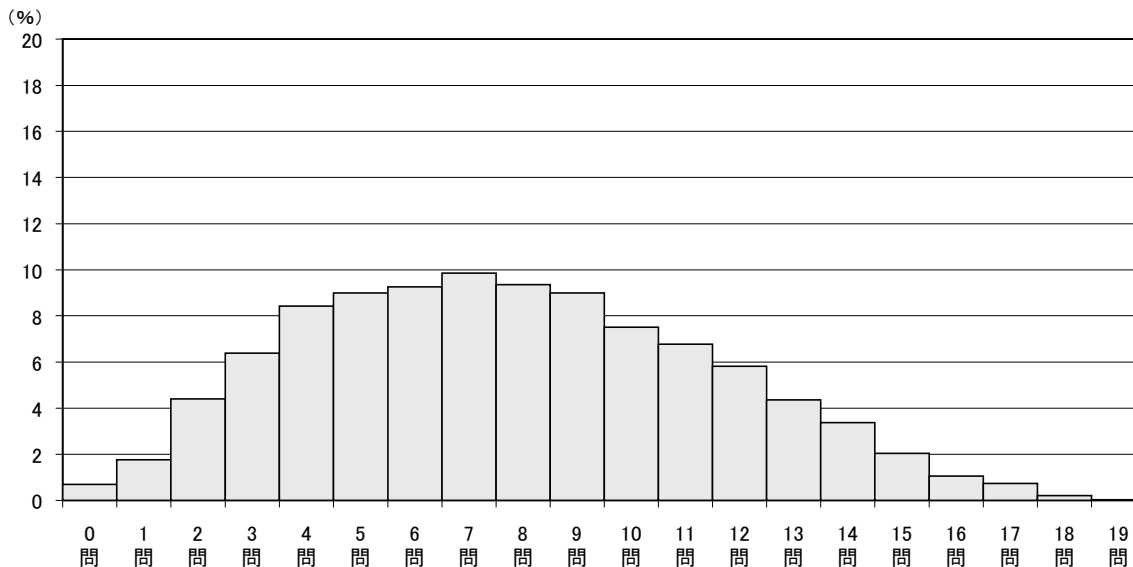
(「米国農務省、農業統計局農業センサス」2002年から作成)

・アメリカ合衆国の企業が経営している農場の特色について説明すること  
[正答率15.2%、無解答率28.1%]

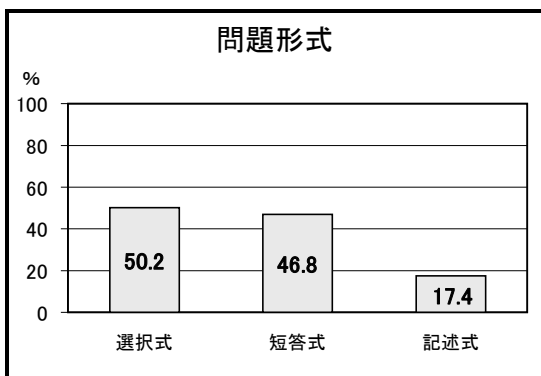
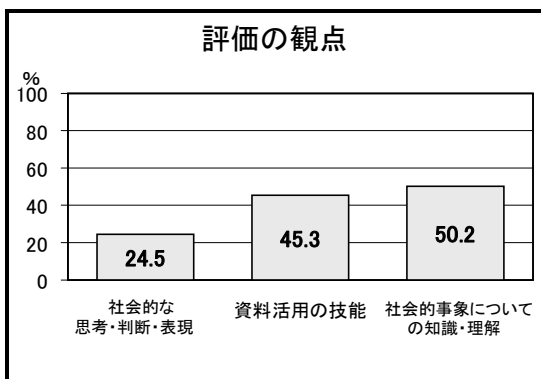
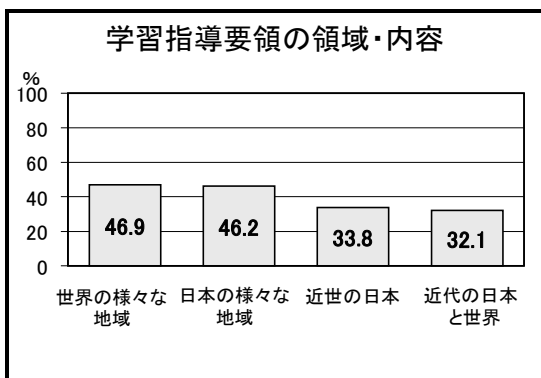
中学校第2学年 社会  
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,382	7.8 / 19	40.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.7
1問	1.8
2問	4.4
3問	6.4
4問	8.4
5問	9.0
6問	9.3
7問	9.9
8問	9.4
9問	9.0
10問	7.5
11問	6.8
12問	5.8
13問	4.4
14問	3.4
15問	2.0
16問	1.0
17問	0.7
18問	0.2
19問	0.0



### 特徴的な問題

**出題の意図**  
過去の高知県学力定着状況調査において、「複数の資料を関連付けて、資料から読み取ったことを基に説明することに課題がある」ことから、その改善状況をみるために出題した。

2

(2) 山本さんと岩崎さんは、【資料1】から、オーストラリアの最大の貿易相手国が、イギリスから中国や日本などに変わった理由について調べるために【資料2】、【資料3】を集めました。これらの資料から読み取った内容を書きなさい。

【資料1】

オーストラリアから  
日本・中国・イギリス・アメリカへの輸出

日本・中国・イギリス・アメリカから  
オーストラリアへの輸出

(単位: 億豪ドル)

【資料2】

キャンベラ中心の正距方位図法

メルカトル図法

【資料3】 GDP総額世界上位10か国

順位	国	GDP総額 (2015年)
1	アメリカ	17兆9470億ドル
2	中国	10兆9828億ドル
3	日本	4兆1232億ドル
4	ドイツ	3兆3576億ドル
5	イギリス	2兆8493億ドル
6	フランス	2兆4215億ドル
7	インド	2兆907億ドル
8	イタリア	1兆8157億ドル
9	ブラジル	1兆7725億ドル
10	カナダ	1兆5523億ドル

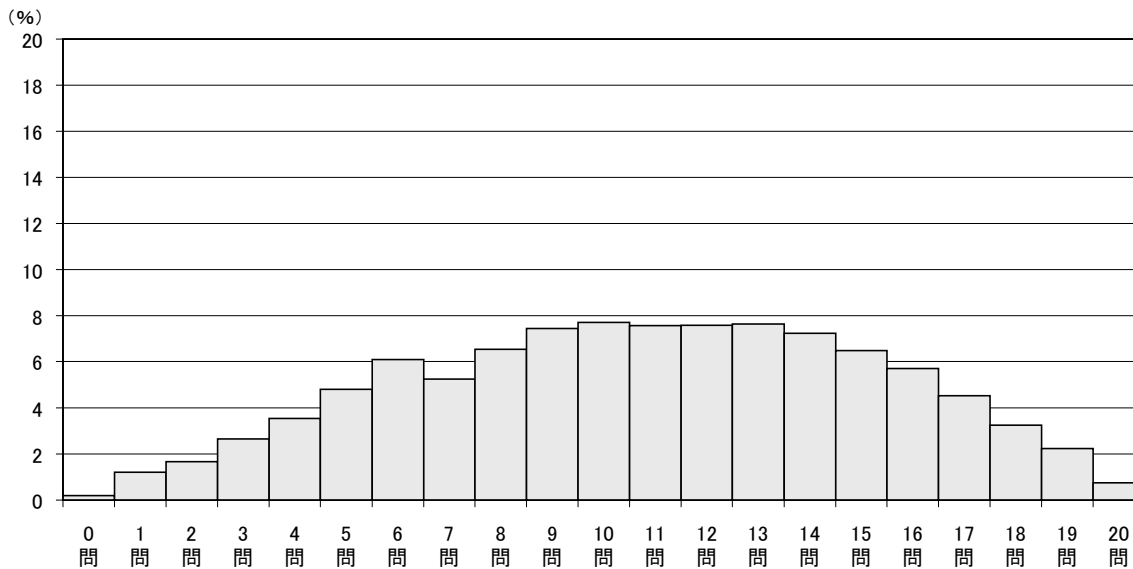
\* GDP (国内総生産)

・オーストラリアがアジア諸国と結び付きを強めた理由を説明すること[正答率37.0%、無解答率14.2%]

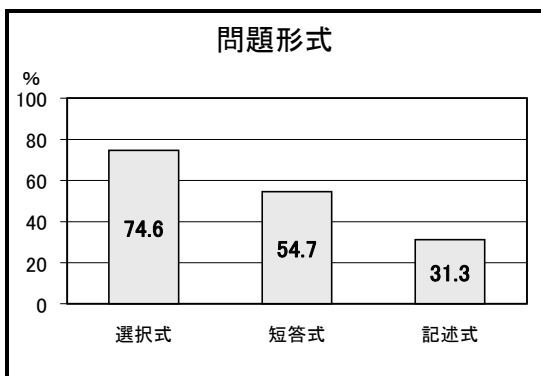
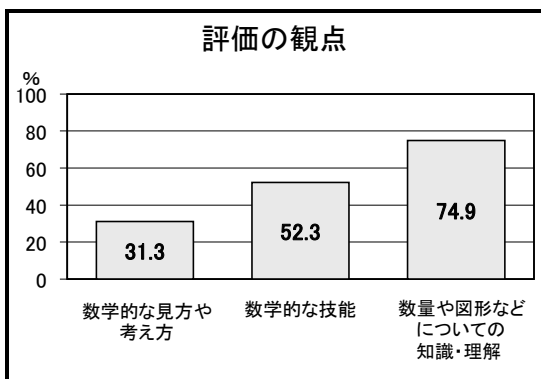
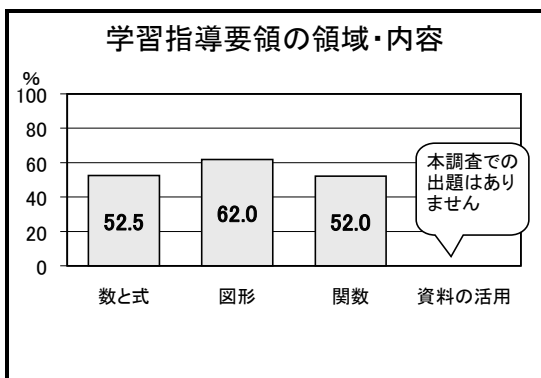
中学校第1学年 数学  
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,271	10.8 / 20	53.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	1.2
2問	1.7
3問	2.6
4問	3.5
5問	4.8
6問	6.1
7問	5.2
8問	6.5
9問	7.4
10問	7.7
11問	7.6
12問	7.6
13問	7.6
14問	7.2
15問	6.5
16問	5.7
17問	4.5
18問	3.3
19問	2.2
20問	0.7



### 特徴的な問題

**出題の意図**  
平成25年度及び平成29年度全国学力・学習状況調査において、「事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することに引き続き課題がある」ことから、その改善状況を見るために出題した。

3 (2) 図1のように、マグネットを囲むと、 $x$ 枚の折り紙をはるために必要なマグネットの個数は、 $4+3(x-1)$ という式で表すことができ、その理由は次のように説明できます。

説明

図1  
マグネットを図1のように囲むと、1つの囲みにマグネットが3個ある。その囲みが  $(x-1)$  個あるので、この囲みで数えたマグネットの個数は、 $3(x-1)$  個となる。このとき、左端に囲まれていないマグネットが4個あるので、必要なマグネットの個数は、 $3(x-1)$  より4個多い。したがって、 $x$ 枚の折り紙を黒板にはるときに、必要なマグネットの個数を表す式は、 $4+3(x-1)$  になる。

図2のように囲み方をやってみると、 $x$ 枚の折り紙をはるために必要なマグネットの個数は、 $1+3x$ という式で表すことができます。 $x$ 枚の折り紙をはるために必要なマグネットの個数を表す式が $1+3x$ になる理由について、下の説明を完成しなさい。

説明

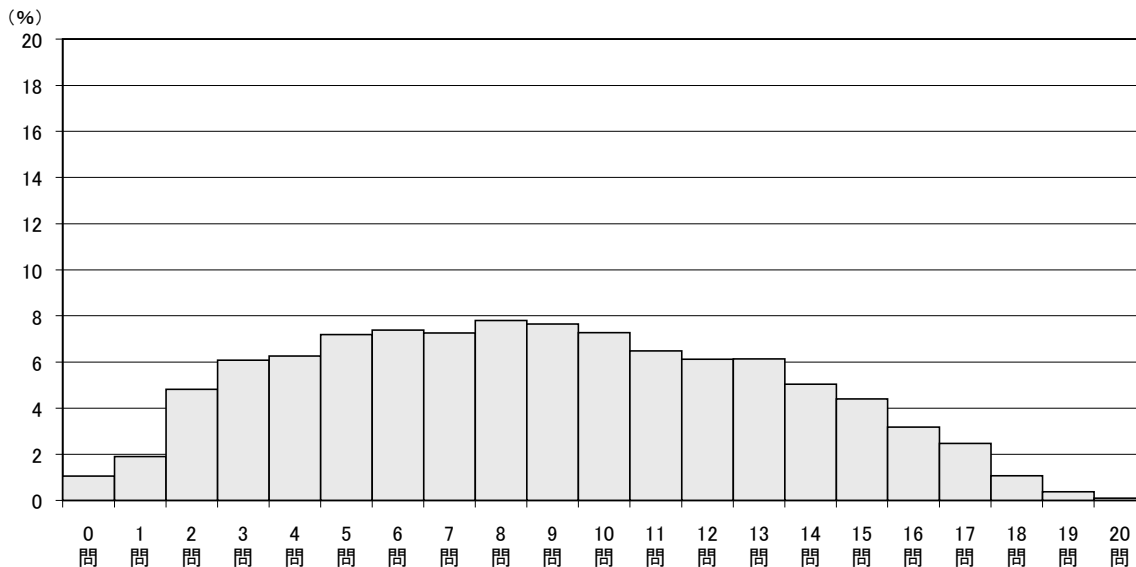
図2

・事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明すること[正答率48.8%、無解答率13.5%]

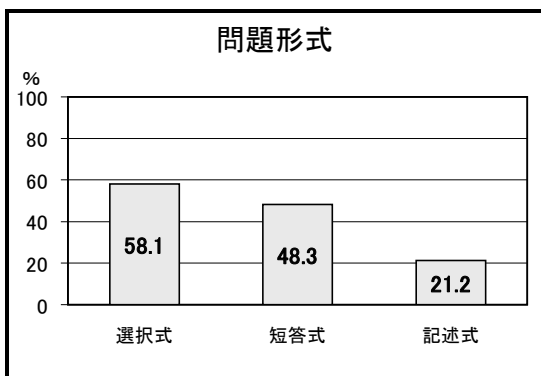
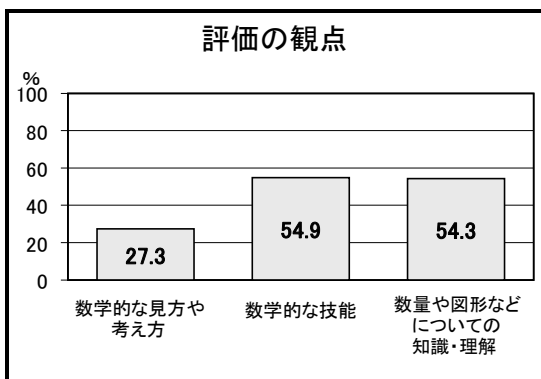
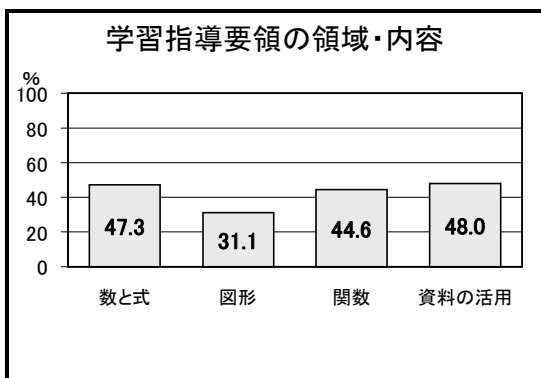
中学校第2学年 数学  
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,381	8.7 / 20	43.6

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	1.0
1問	1.9
2問	4.8
3問	6.1
4問	6.3
5問	7.2
6問	7.4
7問	7.3
8問	7.8
9問	7.6
10問	7.3
11問	6.5
12問	6.1
13問	6.1
14問	5.0
15問	4.4
16問	3.2
17問	2.5
18問	1.1
19問	0.4
20問	0.1



### 特徴的な問題

**出題の意図**  
 これまでの学力調査等の結果から、「事柄の説明」「方法の説明」「理由の説明」の数学における3種類の記述式の問題の中でも特に課題となっている「方法の説明」を記述する問題を、関数を使って問題解決の方法を見通す場面で出題した。

⑥ 次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

ある学校では、2月に特別教室で、学習発表会を行います。  
 この季節は室温が低く、人の出入りもあるため、石油ファンヒーターを設置しています。燃料タンクに燃料をいっぱいにしたとき、この石油ファンヒーターをつけてから、 $x$ 分後の残った燃料を $y$ Lとして調べた後の結果を、表にしてまとめ、下のグラフに表しました。

表 石油ファンヒーターをつけている時間と残った燃料の量

石油ファンヒーターをつけている時間 (分)	0	10	20	30	40	50
残った燃料の量 (L)	22.0	20.8	20.3	18.2	17.9	17.1

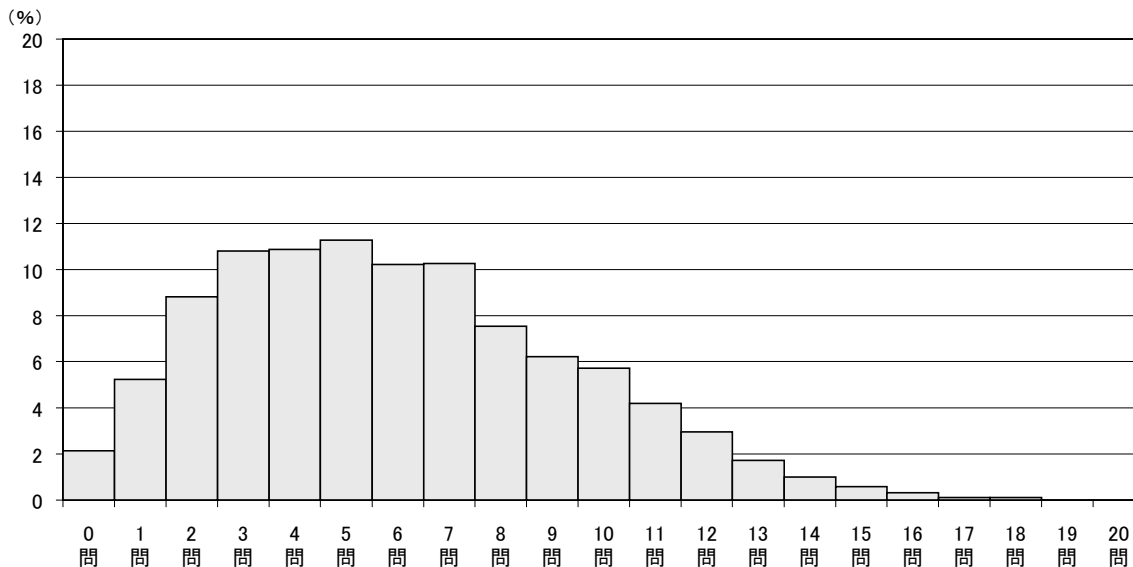
時間と残った燃料の量のグラフ

(2) 学習発表会の時間が150分であるとき、この石油ファンヒーターの燃料を燃料タンクいっぱいになると石油ファンヒーターをつけ続けられるかについて考えています。  
 グラフにおいて、石油ファンヒーターをつけている時間と残った燃料の量の関係を表す点Aから点Fまでの全ての点が一直線上にあるとみなします。  
 このとき、石油ファンヒーターをつけてから150分後の残った燃料の量を求める方法を説明しなさい。ただし、実際に残った燃料の量を求める必要はありません。

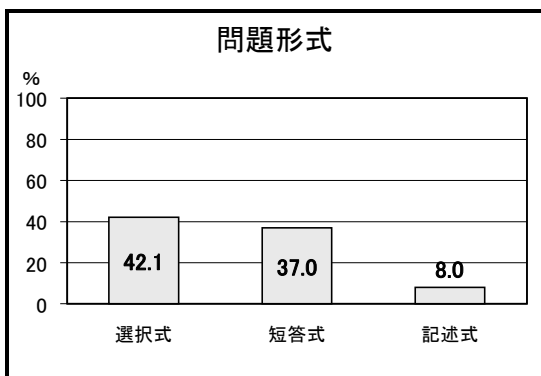
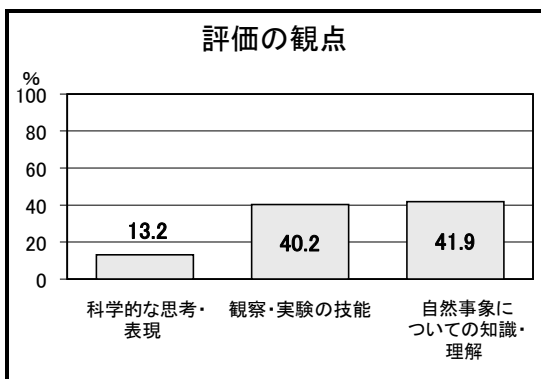
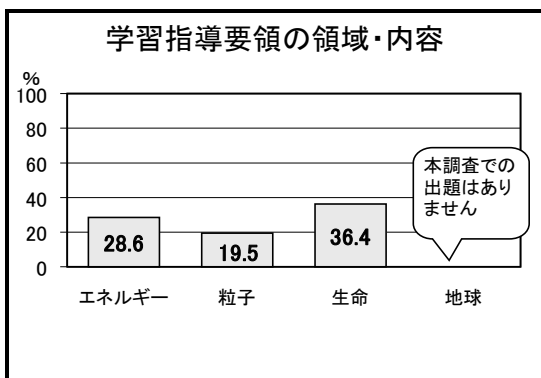
・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること  
 [正答率31.4%、無解答率30.5%]

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,267	6.0 / 20	29.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	2.1
1問	5.2
2問	8.8
3問	10.8
4問	10.9
5問	11.3
6問	10.2
7問	10.3
8問	7.5
9問	6.2
10問	5.7
11問	4.2
12問	3.0
13問	1.7
14問	1.0
15問	0.6
16問	0.3
17問	0.1
18問	0.1
19問	0.0
20問	0.0



### 特徴的な問題

**出題の意図**  
平成28年度高知県学力定着状況調査において、「資料を読み取り、分析・解釈したことを説明することに課題が見られた」ことから、その改善状況をみるために出題した。

6 真里さんは、種子をつくらない植物のコケ植物について調べています。真里さんが調べた内容をもとに、次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

真里さんが、ゼニゴケを双眼実体顕微鏡で観察していると、ゼニゴケが乾燥して丸まってしまいました。そこで、乾燥したゼニゴケに水を与えたところ、すぐに元に戻りました。  
真里さんは、このことゼニゴケが乾燥したところであまり見かけないことに関係があるのではないかと考え、図書館の資料などを使ってツバキとゼニゴケのからだのつくりを調べました。

【調べたこと】

〈ツバキの葉の断面〉

維管束

〈ゼニゴケの断面〉

(写真: OPO)

〈ツバキの特徴〉

- 葉の外側には、小さな細胞が並んでおり、葉の断面の輪かすが、はっきりとしている。
- 細かな部屋が密集して集まっているところ(維管束)が見られ、根から水を吸収している。

〈ゼニゴケの特徴〉

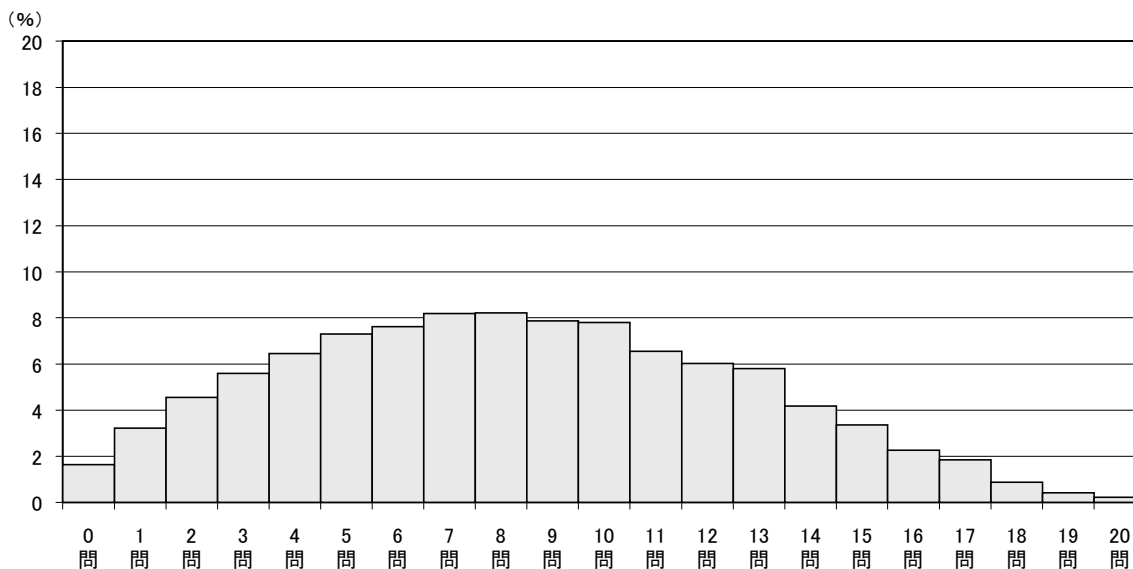
- ゼニゴケの外側には、大きな細胞が並んでおり、断面の輪かすが、はっきりしていないところがある。からだの表面には、すき間が多くあいており、水の出入りがしやすい。
- 細かな部屋が密集して集まっているところ(維管束)が見られず、根・茎・葉の区別がない。

(3) 【調べたこと】の内容をもとに、ゼニゴケが乾燥した場所ではあまり見られない理由を書きなさい。

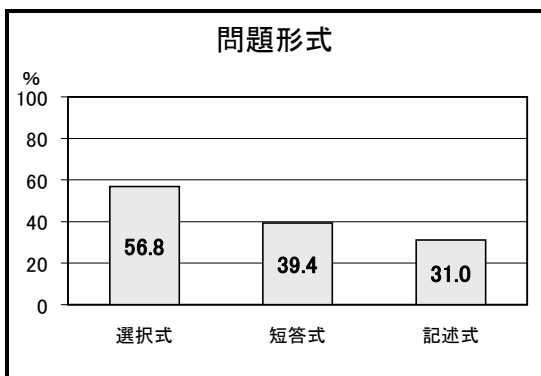
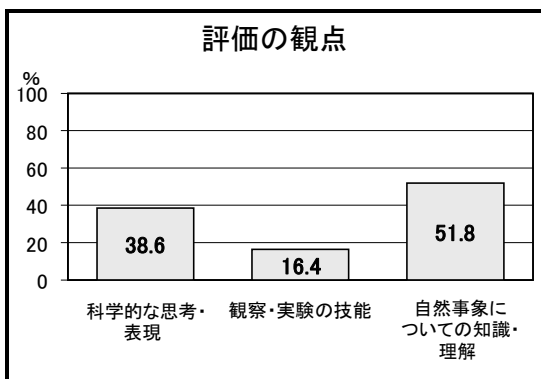
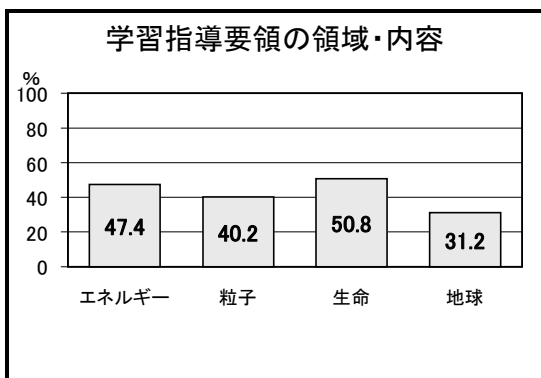
・種子をつくらない植物の生活場所について、体の特徴を基に説明すること  
[正答率15.4%、無解答率13.7%]

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,381	8.3 / 20	41.7

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	1.6
1問	3.2
2問	4.5
3問	5.6
4問	6.5
5問	7.3
6問	7.6
7問	8.2
8問	8.2
9問	7.9
10問	7.8
11問	6.6
12問	6.0
13問	5.8
14問	4.2
15問	3.4
16問	2.3
17問	1.8
18問	0.9
19問	0.4
20問	0.2



### 特徴的な問題

**出題の意図**  
平成27年度全国学力・学習状況調査において、「問題を見だし、適切な課題をつくることに課題がある」ことから、その改善状況をみるために出題した。

**4** 良太さんは、お母さんが沸騰したお湯でゆで卵をつくっていたのに、卵黄の表面が黒っぽくならないものがあることに気がきました。そこで、良太さんは、【新たな疑問】をもとに【課題2】を設定して、調べました。

**レポートの一部**

【新たな疑問】  
100℃のお湯で25分間加熱すると卵黄の表面が黒っぽくなったが、100℃のお湯でも加熱時間が8分間だと卵黄の表面が黒っぽくならなかった。100℃でゆでると卵黄の表面がすべて黒っぽくなるというわけではないのか。

【課題2】  
卵黄の表面が黒っぽくなるのは、( )

【方法2】  
(省略)

【結果2】

加熱時間(分)	100℃のお湯に入れた卵のようす
10	卵黄の表面が黒っぽくならなかった。
15	卵黄の表面が一部黒っぽくなっていた。
20	卵黄の表面が黒っぽくなっていた。
25	卵黄の表面がさらに黒っぽくなっていた。

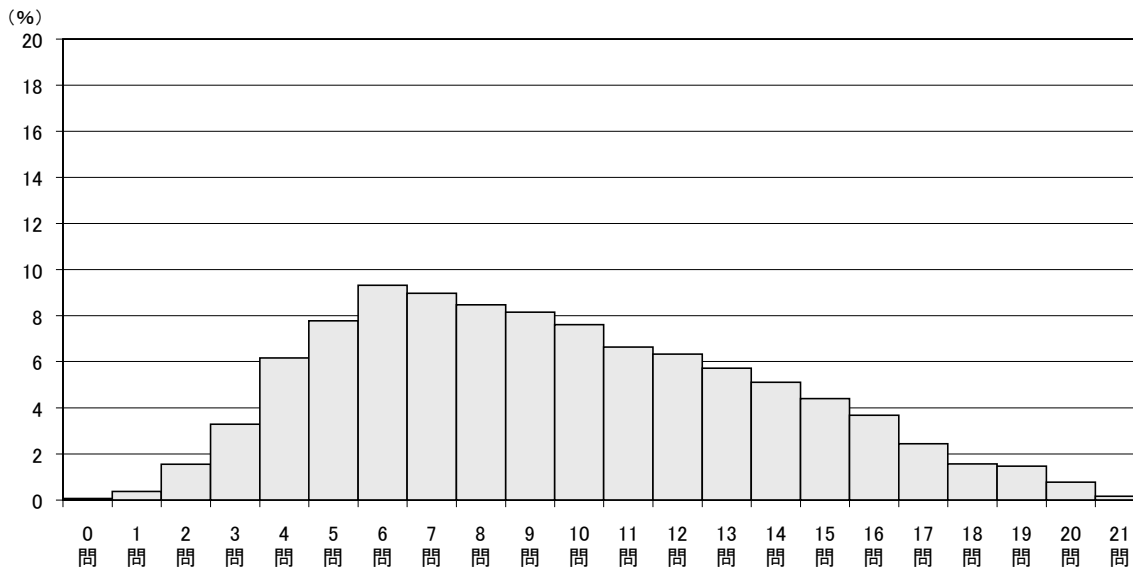
(2) 良太さんは、【新たな疑問】から【課題2】を設定して調べたところ、【結果2】のようになりました。【課題2】の( )に入る適切な内容を書きなさい。

・化学変化について見いだした問題を基に、適切な課題を設定すること  
[正答率40.9%、無解答率11.3%]

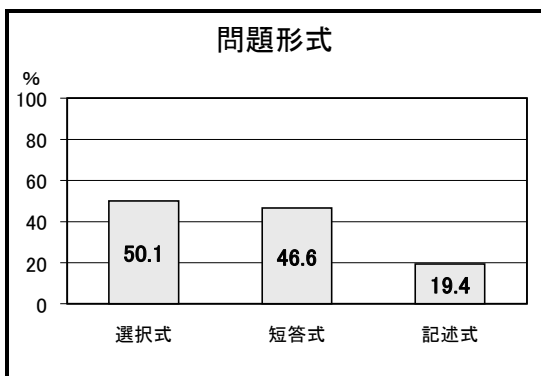
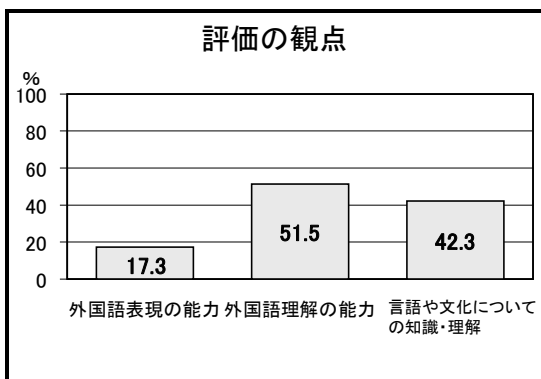
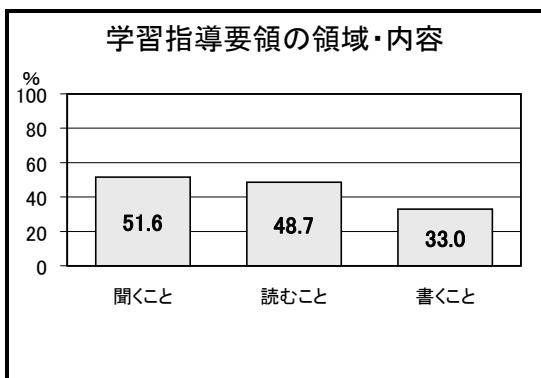
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,270	9.5 / 21	45.2

正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.4
2問	1.5
3問	3.3
4問	6.2
5問	7.8
6問	9.3
7問	9.0
8問	8.5
9問	8.1
10問	7.6
11問	6.6
12問	6.3
13問	5.7
14問	5.1
15問	4.4
16問	3.7
17問	2.4
18問	1.6
19問	1.5
20問	0.8
21問	0.2



### 特徴的な問題

**出題の意図**  
過去の高知県学力定着状況調査から課題のあった「書くこと」の改善状況を見るために出題した。また、4技能のうち「読むこと」を通して得た知識等を「書くこと」と結び付けた問題である。メモなどに書かれた内容を捉え、自分の考えや気持ちなどが読み手に伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことを測っている。

**11** (2) 次は、マキがトムを紹介した「くろしお便り」の【原稿の一部】です。あなたがマキなら、どのような紹介文を書きますか。【メモ】の①から④の内容をもとに、【原稿の一部】を完成させなさい。ただし、英語は3文以上で書くこととします。また、①から④の内容をすべて書かなくてもかまいません。

【メモ】

〈トムへの質問〉

- ① 出身国 ( アメリカ )
- ② 家族 ( 5人家族、両親と姉2人 )
- ③ 好きな食べ物 ( ピザ、シカゴピザが好き )
- ④ 趣味・特技 ( 料理 )

【原稿の一部】

Kuroshio News

Meet Tom!

This is our new friend, Tom.

Let's talk with Tom!

Do you know Chicago?

Chicago is a big city in the State of Illinois. It's famous for a very big pizza.

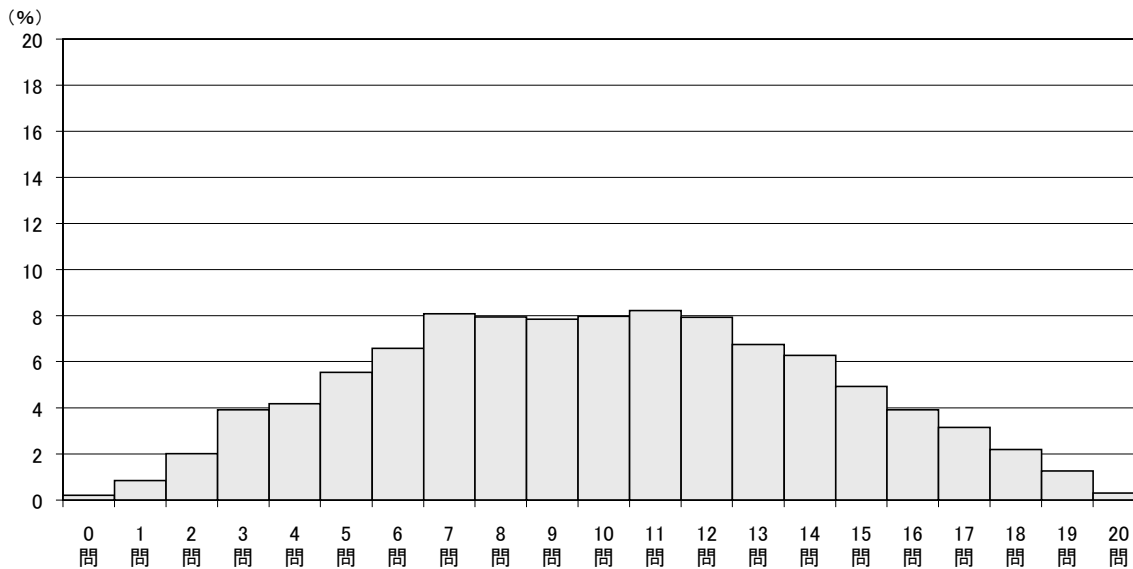
・メモを基に、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと  
[正答率19.0%、無解答率17.1%]



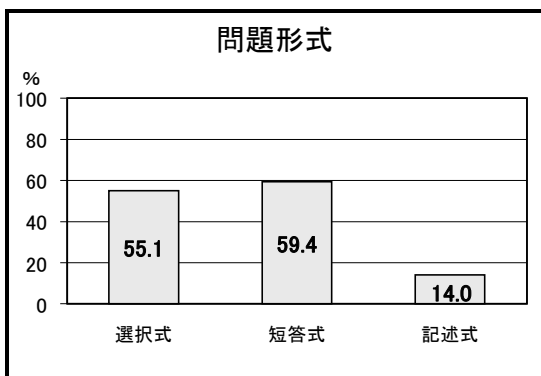
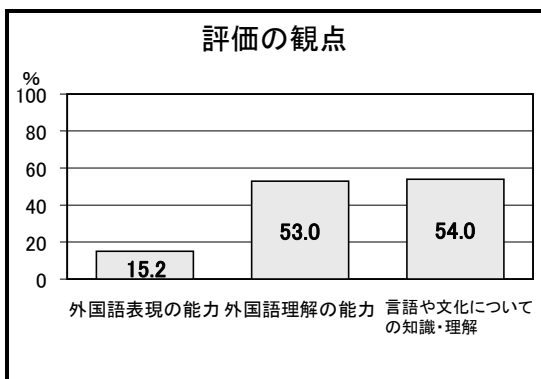
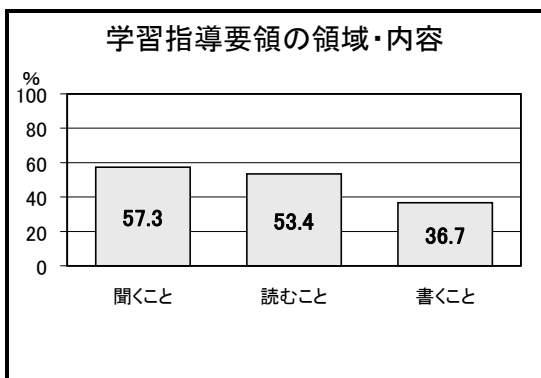
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,380	9.9 / 20	49.6

正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.8
2問	2.0
3問	3.9
4問	4.2
5問	5.5
6問	6.6
7問	8.1
8問	7.9
9問	7.9
10問	8.0
11問	8.2
12問	7.9
13問	6.7
14問	6.3
15問	4.9
16問	3.9
17問	3.2
18問	2.2
19問	1.3
20問	0.3



### 特徴的な問題

**出題の意図**  
 新学習指導要領を踏まえ、「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする」力を測る問題を出題した。

**11** あなたが将来やってみたいことや、つきたい職業は何ですか。1つ取り上げて、なぜそう思うのかその理由を含め、まとまりのある英文を20語以上で書きなさい。英文は2文以上になってもかまいません。ただし、符号(.,?!など)は語数に含めません。

(参考)

・自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと  
 [正答率17.9%、無解答率19.7%]

## 調査結果の活用 ～解答類型別反応率の分析～

各学校に送られた調査結果のデータの中の「設問別調査結果」のファイルには、領域や各設問等の正答率が示されています。また、「設問別（解答類型）調査結果」には、各設問の反応率が示されており、これを見ると、児童生徒がどこでつまづいているのかがわかります。資料を基に要因を探り、各単元の指導に当たって、どのような改善を図っていくのかを考えることが大切です。

### 例：中学校第1学年外国語（英語）

<Is this your father>の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書くことができるかどうかをみる。

9 次の対話が成り立つように、[ ]の語を並べかえて、意味のとおり英文を完成させなさい。ただし、文頭にくる語も小文字にしてあります。

- (1) A : This is a picture of my family.  
 B : [ this / your / is / father ] ?  
 A : No, he is my grandfather.

#### 【自校採点マニュアル】

9	(1)	(注意)・大文字、小文字は問わない。 ・綴りの誤りは評価の対象としない。		正答	解答類型別 反応率 (%)
		1	2		
		1	Is this your father と解答しているもの	◎	39.3
		2	This is your father と解答しているもの		47.4
		3	Is your father this と解答しているもの		0.2
		9	上記以外の解答		11.3
		0	無解答		1.8

※解答類型別反応率の数値については、「設問別（解答類型）調査結果」より転記しています。



課題を解決するためには…



#### <分析>

この設問では、解答類型2が多く、be動詞を使った文構造を正しく捉えているが、対話の前後の文脈を読み取ったうえで、「No, he is my grandfather.」につながる疑問文の語順に変化させることを理解していないことが考えられます。また、疑問文を使う必然のある対話の場面の中で、文構造を理解して活用することが十分でないことも考えられます。

#### <改善策>

正しい語順を用いて文を構成できるようにするためには、例えば、授業では、be動詞を使った文を疑問文に変形するような文構造を理解させる指導をすることにとどまらず、疑問文に答えたり、答えから疑問文を推測して文を書くなどの指導が大切です。また、家庭学習においては、身近な話題について簡単な対話文を作成させたり、意見文や質問文を読んで、自分の意見を英語でまとめさせたりする学習を行うなど、授業と家庭学習を結び付けながら、書く活動を充実させることが必要です。

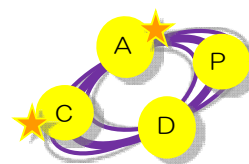
このように、解答類型番号を見ると、「どのように考えたのか」「どのような間違いをしているのか」の傾向を把握することができます。ただし、解答類型9（上記以外の解答）が多い場合は、実際の解答用紙を見て、どのような誤答が多いかを確認し、分析していくことが必要になります。分析内容については、教科内、学校全体で共有したうえで、日々の授業や家庭学習等で「どのように取り組めばよいのか」、具体的な改善策を組織的に進めていくことが重要です。

## 全校体制で授業改善に取り組む

各学校においては、校長や研究主任などのリーダーシップのもと、全教職員の日々の研究・研鑽により、課題の解決に向けた校内研修や教科会が積極的に進められていることと思います。

各教科等における資質・能力の育成を目指し、「我が校ではこのように取り組む」という方針を明確にし、全校体制で組織的・協働的に取り組んでいただきたいと考えています。子どもたちに付けたい力を着実に身に付けさせるために、今後もさらなる授業の工夫・改善を図っていきましょう。

### 各教科等における資質・能力の育成を目指した授業づくり



- A**
- 日々の授業実践
    - ・ 指導方法や学習活動の工夫
    - ・ 学習内容の確実な定着

- C**
- 校内研修  
(研究授業・研究会・教科会等)
    - ・ 「チーム」での指導案の検討
    - ・ 評価問題の検討

- D**
- 日々の授業実践
    - ・ 指導方法や学習活動の工夫
    - ・ 学習内容の確実な定着

- 学習指導についての共有化
  - ・ 授業スタンダード
  - ・ ノート指導
  - ・ 家庭学習の指導

- P**
- 指導計画の作成
    - ・ 各教科等における資質・能力の育成に適した言語活動の設定
    - ・ 弱点領域の指導方法の改善

- 学力調査等の分析
  - ・ 課題の焦点化
  - ・ 改善策の明確化

検証・改善

「児童生徒が主体的に考える場面があるか」「考えたことを表現・交流する場面があるか」など、言語活動のさらなる充実に向けて、検討をしておきましょう。

児童生徒が目的や必要性を意識して取り組める学習となるよう、学習課題を工夫しましょう。



#### 学力向上に向けてこれだけは大切にしたい授業づくりのポイント

授業中に	チェック
1. 子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。	
① 学習指導要領の指導内容に基づいたねらいになっている。	<input type="checkbox"/>
② 児童生徒にねらいをわかませ、課題意識をもたせている。	<input type="checkbox"/>
2. 学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。	
① 板書計画に基づいた構造的な板書をしている。	<input type="checkbox"/>
② 授業の流れや思考の過程がわかるように工夫している。	<input type="checkbox"/>
3. 自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。	
① 教科の特質を生かした方法で表現できるよう、手立てを工夫している。	<input type="checkbox"/>
② 全員が課題解決に取り組めるよう、適切な支援をしている。	<input type="checkbox"/>
4. 話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。	
① ねらいを達成するために、話し合いや交流の目的を明確にしている。	<input type="checkbox"/>
② 考えを深めたり広げたりすることができるよう、児童生徒の意見を価値付けたりつなげたりしている。	<input type="checkbox"/>
5. 学習したことの振り返りの場を設定する。	
① 児童生徒に学んだことやさらに考えたいことなどを確認させている。	<input type="checkbox"/>
② 学習内容に有用感をもてる適用問題や評価問題を実施している。	<input type="checkbox"/>